

SHARP®

取扱説明書

液晶モニター

形 名

エル ビー

LB-1085



HDMI™
HIGH-DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE

お買いあげいただき、まことにありがとうございました。

この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使い下さい。

- ご使用前に「安全上のご注意」(2ページ)を必ずお読み下さい。
- この取扱説明書は、保証書とともにいつでも見ることができるところに必ず保存してください。

安全上のご注意

ご使用前に「安全上のご注意」を必ず読み、正しく安全にご使用ください。

この取扱説明書および商品には、安全にお使いいただくためにいろいろな表示をしています。その表示を無視して誤った取り扱いをすることによって生じる内容を、つぎのように区分しています。内容をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。



警告

人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。



注意

人がけがをしたり財産に損害を受けるおそれがある内容を示しています。

図記号の意味
(図記号の一例です)



記号は、気をつける必要があることを表しています。



記号は、してはいけないことを表しています。



記号は、しなければならないことを表しています。

警告



指示

本機を使用する際は、設置場所に確実に固定されていることを確認する。
固定されていない場合は、転倒や落下によりけがの原因となります。



電源プラグを抜く

煙やにおい、音などの異常が発生したら、本機の電源を切り、電源プラグを抜く。
異常状態のまま使用すると火災・感電の原因となります。修理を販売店に依頼してください。お客様自身による修理は絶対におやめください。



指示

設置は、必ず専門の工事業者に依頼する。
設置には特別な技術が必要です。お客様ご自身による設置は行わないでください。
設置に不備があると、転倒や落下によりけがの原因となります。
設置不備による事故、損傷については、当社は責任を負いません。



電源プラグを抜く

内部に水や異物が入ったときは、本機の電源を切り、電源プラグを抜く。
そのまま使用すると火災・感電の原因となります。販売店にご連絡ください。



200ボルト以外禁止

交流200ボルト(単相三線式)以外の電圧で使用しない。
火災・感電の原因となります。電源工事が必要な場合は、専門の工事業者にご相談ください。



禁止

電源コードを傷つけたり、加工したり、ねじったり、引っ張ったり、無理に曲げたり、加熱したりしない。
電源コードが傷んだら(芯線の露出、断線)交換をご依頼ください。そのまま使用すると、コードが破損して、火災・感電の原因となります。



電源プラグを抜く

落としたり、キャビネットを破損したときは、本機の電源を切り、電源プラグを抜く。
そのまま使用すると火災・感電の原因となります。販売店にご連絡ください。



水ぬれ禁止

本機の上に花瓶等、水の入った容器を置かない。
水がこぼれるなどして中に入ると、火災・感電の原因となります。



水ぬれ禁止

本機に水が入るような使いかたをしたり、ぬらしたりしない。
火災・感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。



指示

振動が少なく、本機の質量に耐える場所に設置する。
落ちたり倒れたりして、けがの原因となります。



ほこりを取る

電源プラグの刃や刃の付近に、ほこりや金属物が付着しているときは、プラグを抜いて乾いた布で取り除く。
そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



禁止

電源コードに重いものを載せたり、本機の下敷きにしたりしない。
火災・感電の原因となります。



禁止

異物を入れない。
通風孔(裏ぶたのすき間)などからもの(可燃性・導電性のもの含む)を入れると、火災・感電の原因となります。特にお子様にはご注意ください。

警告



分解禁止

本機の裏ぶたを外したり、改造したりしない。内部には電圧の高い部分があるため、さわると感電の原因となります。内部の点検、修理は販売店にご依頼ください。



風呂、シャワー室での使用禁止

風呂やシャワー室では使用しない。火災・感電の原因となります。



接触禁止

雷が鳴り出したら、本機やプラグに触れない。感電の原因となります。



アースを接続する。アースが接続されないで万一、漏電した場合は火災や感電のおそれがあります。本機の電源プラグはアース付き3ピンプラグです。アース接続できない場合は、専門の工事業者にご相談ください。



禁止

航空機、原子力設備、生命維持にかかわる医療機器などの高度な信頼性を必要とする設備への組み込みや制御などを目的とした使用はできません。

注意



禁止

電源コードを熱器具に近づけない。電源コードの被覆が溶けて火災・感電の原因となることがあります。



ぬれ手禁止

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。感電の原因となることがあります。



禁止

電源コードを束ねない。発熱して火災の原因となることがあります。



禁止

風通しの悪いところに入れない、密閉した箱に入れ、じゅうたんや布団の上に置かない、布などをかけない。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。



確実に差し込む

電源プラグは確実に差し込む。電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全ですと発熱したり、ほこりが付着して火災・感電の原因となることがあります。また、電源プラグの刃に触れると感電することがあります。



禁止

電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない。電源コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。



禁止

タコ足配線をしない。火災・感電の原因となることがあります。



禁止

湿気やほこりの多いところ、油煙や湯気が当たるところに置かない。調理器具や加湿器などのそばに置くと、火災・感電の原因となることがあります。



禁止

重いものを置いたり、上に乗ったりしない。倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。特にお子様やペットにはご注意ください。



禁止

電源プラグはゆるみのあるコンセントに接続しない。発熱して火災の原因となることがあります。販売店や電気工事に交換の依頼をしてください。



電源プラグを抜く

お手入れのときや長期間使用しないときは、電源プラグを抜く。感電や火災の原因となることがあります。



注意

通風孔に付着したほこりやゴミをこまめに取り除く。内部の掃除は販売店に依頼する。内部や通風孔にほこりをためたまま使用すると、火災や故障の原因となることがあります。内部の掃除費用については、販売店にご相談ください。



注意

必ず本体が動かないように固定する。移動する場合は、専門の工事業者に依頼してください。



禁止

液晶画面に衝撃を与えない。(物を当てたり、先の尖ったもので突いたりしない。)液晶画面のパネルが割れることがあります。



禁止

本機の温度が高くなる部分に長時間触れない。低温やけどの原因となることがあります。

ご注意

お客様または第三者がこの製品の使用誤り、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

乾電池についての安全上のご注意

液もれ・破裂・発熱によるけがや失明を避けるため、下記の注意事項を必ずお守りください。

⚠ 注意



禁止

電池は幼児の手の届く所に置かない。
電池は飲み込むと、窒息の原因となったり、胃などに止まったりして大変危険です。飲み込んだおそれがあるときは、ただちに医師と相談してください。



禁止

電池のアルカリ液がもれたときは素手でさわらない。
電池のアルカリ液が目に入ったときは、失明のおそれがありますので、こすらずにすぐにきれいな水で洗ったあと、ただちに医師の治療を受けてください。
皮膚や衣類に付着した場合は皮膚に傷害を起こすおそれがありますので、すぐにきれいな水で洗い流してください。皮膚の炎症など傷害の症状があるときは、医師に相談してください。



禁止

電池は火や水の中に投入しない。加熱・分解・改造しない。ショートさせない。乾電池は充電しない。
電池の破裂・アルカリ液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
電池の外装ラベルをはがしたり、傷つけないでください。発熱事故の原因となることがあります。



表示どおりに入れる

電池はプラス⊕とマイナス⊖の向きに注意し、機器の表示どおり正しく入れる。
間違えると電池の破裂・アルカリ液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。



禁止

指定以外の電池を使わない。新しい電池と古い電池または種類の違う電池を混ぜて使わない。
電池の破裂・アルカリ液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。



指示

電池を使い切ったときや、長時間使わないときは、電池を取り出す。
電池を入れたままにしておくと、過放電によりアルカリ液がもれ、故障・火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

保存のしかた: ⊕、⊖の方向をそろえて、低温で乾燥した涼しい場所及び湿気の少ない風通しのよい場所に保存してください。

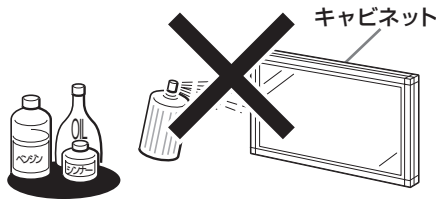
廃棄のしかた: ⊕と⊖をセロハンテープで絶縁して廃棄します。各自治体によって「ゴミの捨てかた」が違います。地域の条例に従ってください。

使用上のご注意

守っていただきたいこと

キャビネットのお手入れのしかた

- ベンジン、シンナーなどで拭いたりしますと変質したり、塗料がはげることがありますので避けてください。
- 殺虫剤など、揮発性のものをかけないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしないでください。プラスチックの中に含まれる可塑剤の作用により変質したり、塗料がはげるといった原因となります。



- 汚れはネルなど柔らかい布で軽く拭きとってください。
- 硬い布で拭いたり、強くこすったりすると、キャビネットの表面に傷がつきます。
- 汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤にひたしたネルなどの布をよく絞って拭きとり、柔らかい乾いた布で仕上げてください。

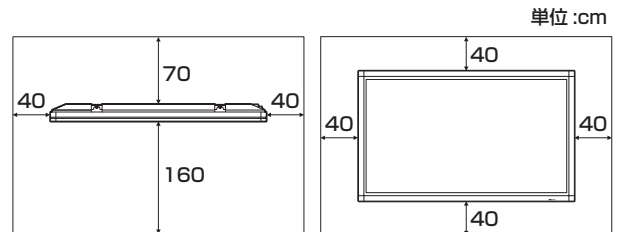
液晶ディスプレイパネルのお手入れのしかた

- お手入れの際は、必ず本体の主電源スイッチを「切」にし、コンセントから電源プラグを抜いたあと行ってください。
- 本機のディスプレイパネルの表面は、柔らかい布（綿、ネル等）で軽く乾拭きしてください。硬い布で拭いたり、強くこすったりすると、パネルの表面に傷がつきますのでご注意ください。
- 汚れがひどい場合は、柔らかい布を軽く水で湿らせて、そっと拭いてください。（強くこすったりすると、ディスプレイパネルの表面に傷が付いたりしますので、ご注意ください。）
- ディスプレイパネルの表面にほこりがついた場合は、市販の除塵用ブラシ（静電気除去ブラシ）をお使いください。
- ディスプレイパネルの保護のため、ほこりのついた布や洗剤、化学雑巾などを使わないでください。パネルの表面がはく離することがあります。

設置・移動について

- 設置や取り外し、移動の際は、必ず専門の工事業者に依頼してください。
本機は大型で重量があります。設置には専門の知識・資格が必要です。
- お客様ご自身による設置や取り外し、移動は絶対に行わないでください。
- 取り付け不備、取り扱い不備による事故、損傷については、当社は責任を負いません。

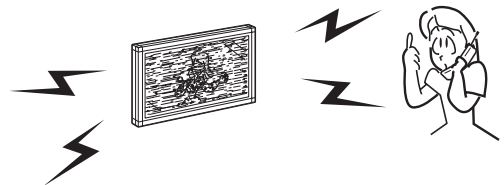
- 設置後もメンテナンスのため、搬出経路・周囲空間を確保してください。



- 発熱する機器の上には本機を置かないでください。
- 本機の上には物を置かないでください。

電磁波妨害に注意してください

- 本機の近くで携帯電話などの電子機器を使うと、電磁波妨害などにより機器相互間での干渉が起こり、映像が乱れたり雑音が発生したりすることがあります。



直射日光・熱気は避けてください

- 温度が高くなる場所に放置すると、キャビネットが変形したり、故障の原因となることがあります。
- 直射日光が当たる場所や熱器具の近くに置かないでください。キャビネットや部品に悪い影響を与えますのでご注意ください。

急激な温度差がある部屋(場所)での使用は避けてください

- 急激な温度差がある部屋(場所)での使用は、画面の表示品位が低下する場合があります。

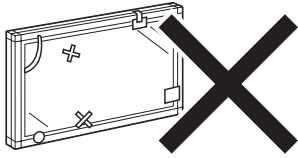
低温になる部屋(場所)での使用の場合

- ご使用になる部屋(場所)の温度が低い場合は、画像が尾を引いて見えたり、少し遅れたように見えることがありますが、故障ではありません。常温に戻れば回復します。
- 低温になる場所には放置しないでください。キャビネットの変形や液晶画面の故障の原因となります。(使用温度: 0°C~40°C)

守っていただきたいこと

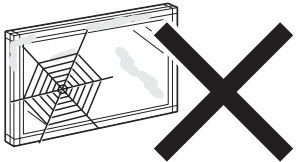
ステッカーやテープなどを貼らないでください

- キャビネットの変色や傷の原因となることがあります。



長期間で使用にならないとき

- 長期間使用しないと機能に支障をきたす場合がありますので、ときどき電源を入れて作動させてください。

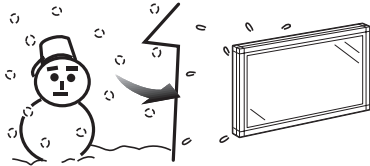


海外では使用できません

- 本機を使用できるのは日本国内だけです。
This product is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.

結露(つゆつき)について

- 本機を寒い場所から急に暖かい場所に移動させたときや、冬の朝など暖房を入れたばかりの部屋などで、本機の表面や内部に結露が起こることがあります。結露が起きたときは、結露がなくなるまで電源を入れずにお待ちください。そのままご使用になると故障の原因となります。



取扱い上のご注意

- 液晶画面を強く押ししたり、ボールペンのような先の尖ったもので押さないでください。また、落としたり強い衝撃を与えないようにしてください。特に液晶画面のパネルが割れたり、傷がつく原因となりますのでご注意ください。
- 振動の激しいところや不安定なところに置かないでください。また、絶対に落としたりしないでください。故障の原因となります。
- EMC規制に適合させるために、この製品の下記の端子に接続するケーブルは、シールドされたものを使用してください。
INPUT1～INPUT7端子、RS-232C端子、OUTPUT端子

使用環境について

- 本機を冷え切った状態のまま室内に持ち運んだり、急に室温を上げたりすると、動作部に露が生じ(結露)、本機の性能を十分に発揮できなくなるばかりでなく、故障の原因となることがあります。このような場合は、よく乾燥するまで放置するか、徐々に室温を上げてからご使用ください。
- 周囲温度は0～40℃の範囲内でご使用ください。正しい使用温度を守らないと、故障の原因となります。
- 長期間で使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。



電源プラグを抜く

- 同じ画像を長時間表示させないでください。残像現象が起こる場合があります。残像現象は、動画等を表示することで、徐々に軽減されます。

蛍光管について

- 本機に使用している蛍光管には、寿命があります。
 - 画面が暗くなったり、チラツいたり、点灯しないときは、お買いあげの販売店またはもよりのお客様ご相談窓口にお問い合わせください。
 - Identificationでバックライト使用時間を確認することができます。(26ページ) 寿命の目安:約24,000時間(本機の使用状態により異なります。)
- ご使用初期において、蛍光管の特性上、画面にチラツキが出ることがあります。この場合、本体の主電源スイッチをいったん「切」にし、再度電源を入れ直して動作を確認してください。

付属品

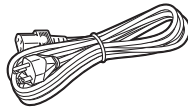
付属品をご確認ください。



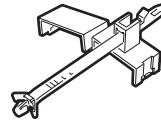
リモコン×1
(10 ページ)



単3形乾電池×2
(10 ページ)



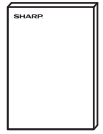
電源コード×1
(9 ページ)



電源コードホルダー×1
(9 ページ)



M16 ボルトキャップ×2



取扱説明書
(本書) × 1

おしらせ

- 必ず本機に付属の電源コードをお使いください。
- M16 ボルトキャップは、天面のアイボルトを取り外した場合、押し込んで穴をふさぎます。取り外すときは、コイン等でまわしてください。
- この製品は日本国内向けであり、日本語以外の取扱説明書はありません。
This model is designed exclusively for Japan, with manuals in Japanese only.

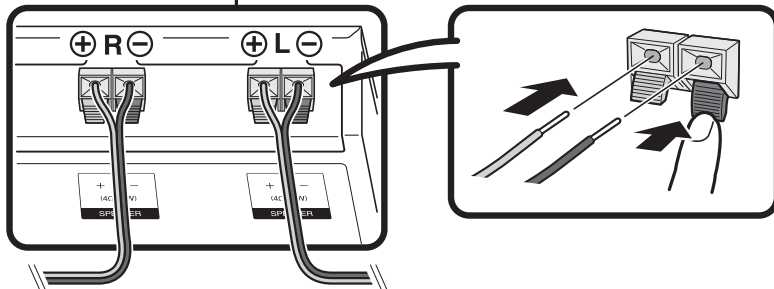
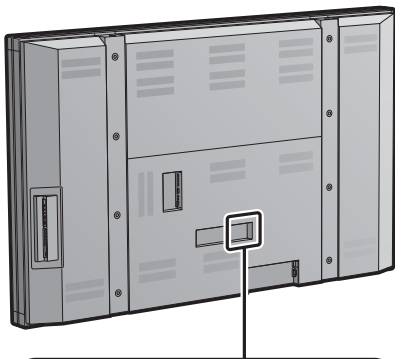
準備

スタンドで設置する

注意

- 本機用以外のスタンドを使用された場合、しっかりと設置されないことがあり、大けがの原因となることがあります。
- 本機の設置には、特別な技術が必要ですので、必ず専門の工事業者にご依頼ください。お客さまご自身による設置は行わないでください。取り付け不備による事故、損傷については、当社は責任を負いません。
- 転倒防止のため、スタンドをアンカーボルトで固定してください。

外部スピーカーを接続する



▲ SPEAKER
(スピーカー) R 端子
外部スピーカー (右) へ

▲ SPEAKER
(スピーカー) L 端子
外部スピーカー (左) へ

使用できるスピーカーについて

- 外部スピーカーをご使用になる場合は、必ずインピーダンス 4 オーム、定格入力 15W 以上のものをお使いください。

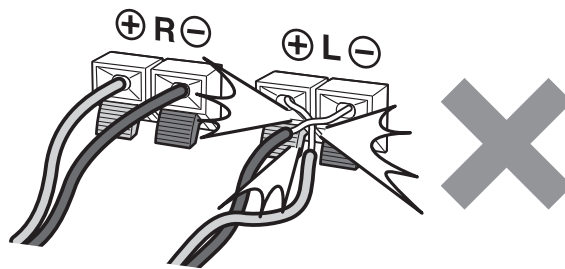
ケーブルの先端を、SPEAKER (スピーカー) 端子につなぎます。それぞれのリード線を、同じ極性の SPEAKER (スピーカー) 端子に接続してください。

■スピーカー端子とケーブルの極性 (⊕、⊖) にご注意ください

スピーカー端子にはプラス⊕とマイナス⊖の極性があります。ケーブルもプラスとマイナスに分かれています。左右のスピーカーを接続する際は、それぞれ、⊕端子どうし、⊖端子どうしをケーブルで正しく接続してください。

注意

- スピーカーケーブルは先にスピーカーに接続してから、本機へ接続します。
- インピーダンスが 4 オーム未満のスピーカーと接続すると、本機に損傷を与える恐れがあります。
- 左右の接続を間違えないようにしてください。本体前面から見たときに右側にあるのが、右スピーカーです。
- 接続コードの芯線が露出している部分が、互いに触れることのないようにしてください。



準備 (つづき)

本機を輸送する

- 本機の輸送には、特別な技術が必要ですので、必ずご購入の販売店にご相談ください。お客さまご自身による輸送は行わないでください。

電源を入れるまで



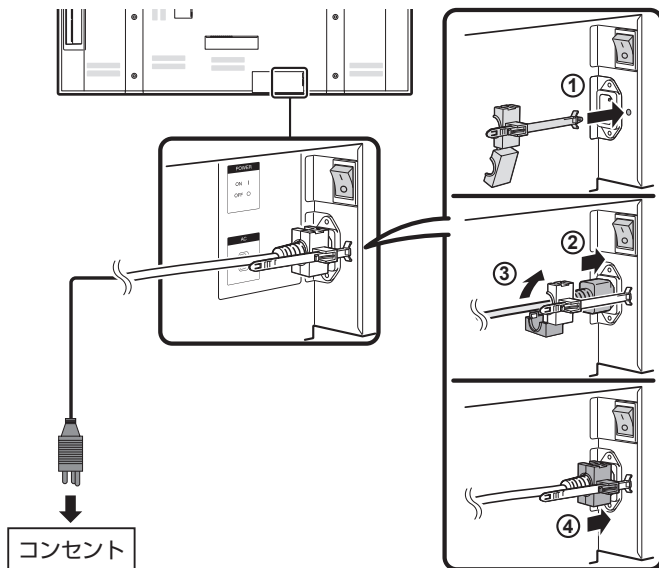
アースを接続する。

アースが接続されないので万一、漏電した場合は火災や感電のおそれがあります。

本機の電源プラグはアース付き3ピンプラグです。アースが接続できない場合は、専門の工事業者にご相談ください。

1 本機の電源コードのプラグをコンセントに差し込む

- 本機に同梱の電源コードは 200V 用です。本機を設置するときは、専門の取り付け工事業者にご依頼ください。電源コードを接続する際は、主電源を切って作業してください。電源コードを下図のとおり固定します。

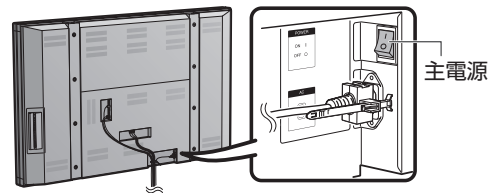


- 本機は電源コンセントの近くに設置し、電源プラグへ容易に手が届くようにしてください。
- 本機は必ず 交流 200V (単相三線式)、50/60Hz アース付き (3ピン) の電源コンセントに接続してください。他の電源コンセントに接続した場合、本機を損傷する恐れがあり、保証が無効になります。

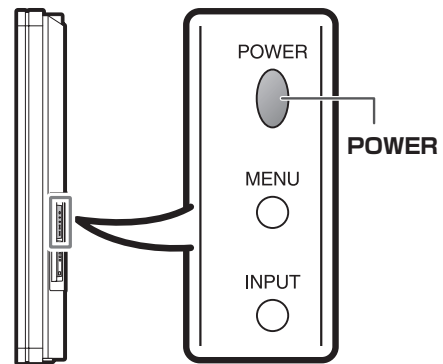
おしらせ

- 必ず付属の電源コードをご使用ください。
- 電源コードをつないだまま、ケーブル類の芯線が露出している部分に手を触れないでください。感電の原因となります。
- 本機専用の電源ラインを準備することをお勧めします。

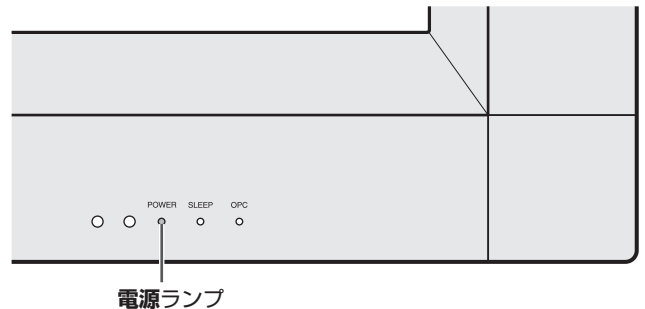
2 本体背面の主電源を「入」にする



3 本体の POWER を押す



本体前面の電源ランプが青色に点灯します。



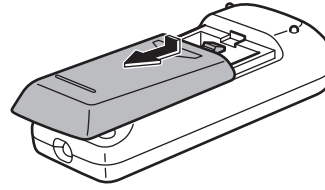
おしらせ

- 本機の角度は調整できません。

準備 (つづき)

リモコンが動作しない場合は、リモコンの電池を交換してください。

- 1 リモコン裏側の電池カバーを開ける
- 2 単3形乾電池 (付属品) を入れる
- 3 カバーを元どおりに閉める



- (+) と (-) の表示どおりに入れてください。

注意

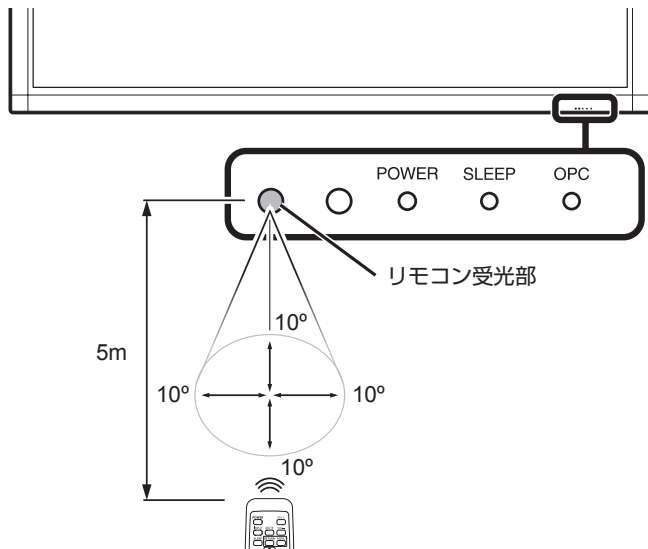
電池は、マンガン乾電池またはアルカリ乾電池を使用してください。

乾電池の使い方を誤ると、液もれや破裂の原因となることがあります。必ず下記の注意事項を守って使用してください。

- 種類の違う電池を混ぜて使用しないでください。電池は種類が違えば特性も異なります。
- 古い電池と新しい電池を混ぜて使用しないでください。古い電池と新しい電池を混ぜて使用すると、新しい電池の寿命が縮まったり、古い電池が液もれを起こしたりすることがあります。
- 電池は寿命が切れたらすぐに取り出してください。電池からもれた液体が皮膚に触れると、発疹の原因となることがあります。少しでも液もれを見つけたら、布で完全に拭き取ってください。
- 付属の電池は、保管状態により短期間で消耗する場合があります。
- 長期間リモコンをご使用にならない場合は、電池を取り出しておいてください。
- 充電式でない電池を充電しないでください。

リモコンを使う

リモコンは本体のリモコン受光部に向けてお使いください。リモコンとリモコン受光部の間に障害物があると、操作できないことがあります。

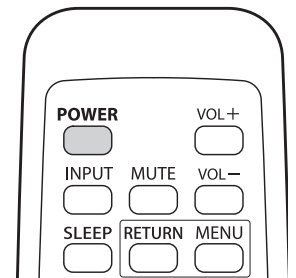


■リモコン使用上のご注意

- リモコンには衝撃を与えないでください。また、水に濡らしたり湿度の高いところに置かないでください。
- リモコンは直射日光の当たる場所に取り付けたり置いたりしないでください。日光の熱が原因でリモコンが変形することがあります。
- リモコン受光部に直接日光や強い照明が当たっていると、リモコンが動作しにくくなります。照明または本機の向きを変えるか、リモコンをリモコン受光部の近くで操作してみてください。

本機の電源が入ると、本体前面の電源ランプが青色に点灯します。

本体前面の電源ランプが点灯しない場合は、リモコンの **POWER** を押して電源を入れてください。

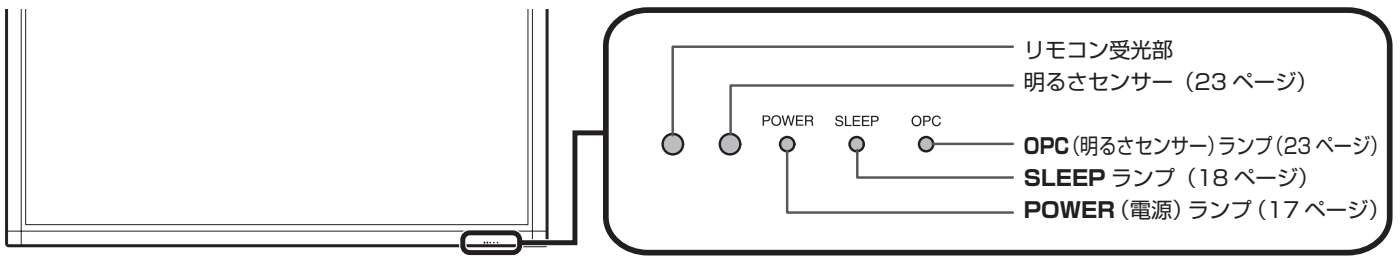


目次

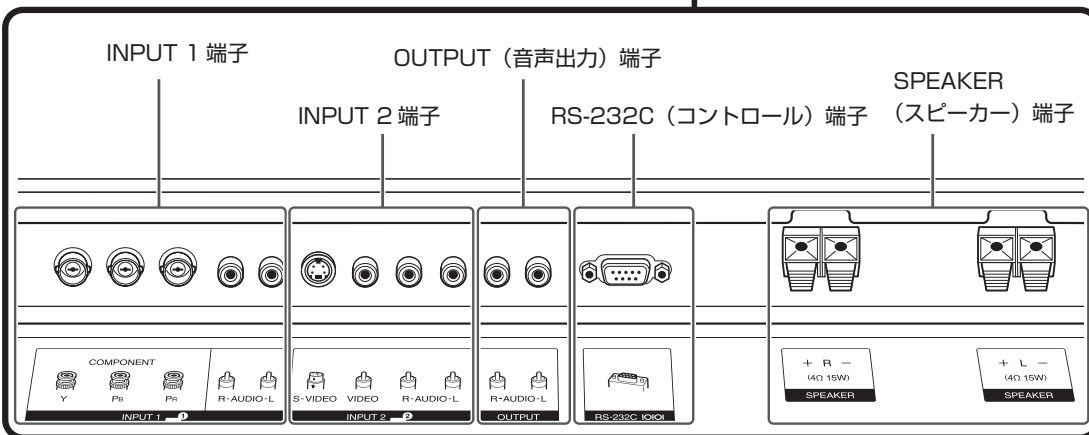
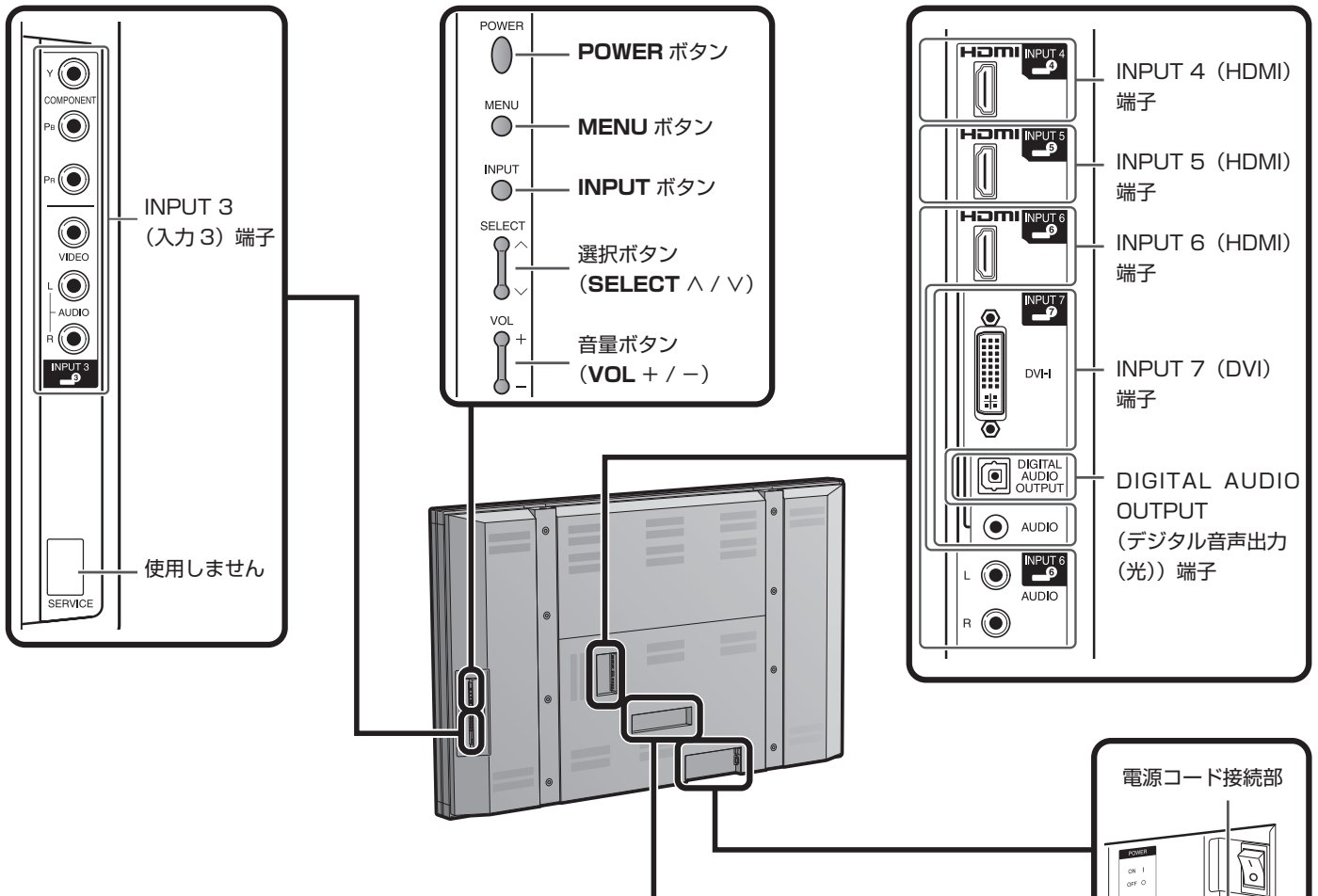
安全上のご注意	2	Option (機能切換) メニュー	27
使用上のご注意	5	Audio Only (映像オフ)	27
付属品	7	Input Select (入力信号タイプの選択)	27
準備	7	HDMI Setup (HDMI 設定)	27
スタンドで設置する	7	Output Select (音声出力方法の選択)	27
外部スピーカーを接続する	8	Color System (映像信号方式の選択)	27
リモコンを使う	10	Game Play Time (ゲーム時間表示設定)	27
各部のなまえ	12	Operation Lock Out (操作ロック)	27
本体 (前面)	12	付録	28
本体 (背面/側面)	12	故障かな?と思ったら	28
リモコンのボタン	13	RS-232C ポート仕様	29
準備する	14	おもな仕様	30
録画・再生機器をつなぐ	14	本機で使用しているソフトウェアのライセンス情報	31
デジタル音声出力 (光) を使う	15	保証とアフターサービス	32
HDMI 機器をつなぐ	15	お客様ご相談窓口のご案内	33
PCをつなぐ	16	寸法図	34
PC 対応表	16		
電源を入れる/切る	17		
初期設定	17		
ボタンの使い方	18		
音量を調整する	18		
MUTE (消音)	18		
SLEEP (オフタイマー)	18		
INPUT (入力切換)	19		
AV MODE	19		
VIEW MODE (画面サイズ)	20		
画面表示メニュー	21		
メニュー項目の一覧	21		
メニューの基本操作	22		
メニュー操作ボタン	22		
Picture (映像調整) メニュー	23		
OPC (明るさセンサー設定)	23		
Advanced (プロ設定)	23		
Audio (音声調整) メニュー	24		
Surround (サラウンド)	24		
Power Control (省エネ設定) メニュー	25		
No Signal Off (無信号オフ)	25		
No Operation Off (無操作オフ)	25		
Setup (本体設定) メニュー	25		
EZ Setup (初期設定)	25		
Input Skip (入カスキップ設定)	26		
Input Label (入力表示選択)	26		
Input Signal (入力解像度)			
(アナログ PC 入力モードの場合のみ)	26		
Auto Sync. (自動同期調整)			
(アナログ PC 入力モードの場合のみ)	26		
Fine Sync. (画面調整)	26		
Position (位置調整)	26		
Language (言語設定)	26		
Identification (バージョン情報)	26		
Reset (リセット)	26		

各部のなまえ

本体（前面）



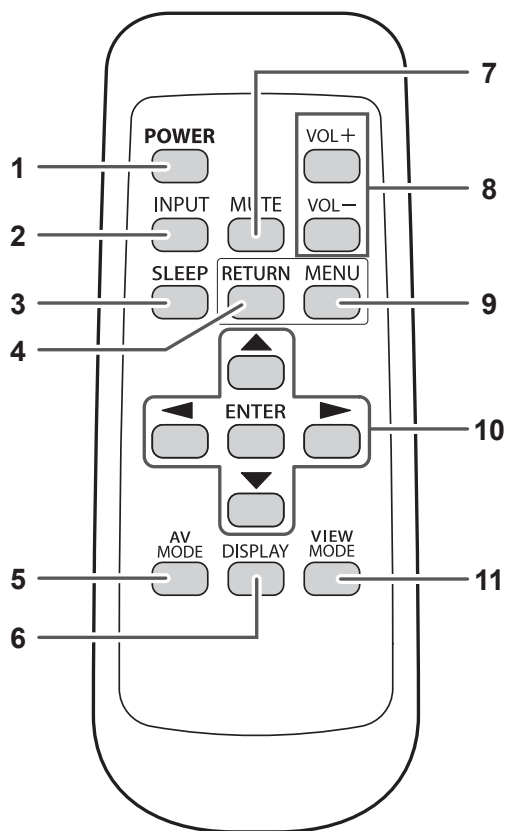
本体（背面／側面）



おしらせ

- 本書に掲載しているイラストは説明用のものであり、実際とは多少異なることがあります。

リモコンのボタン



- 1 **POWER** : 本機の電源を入/待機状態にする (17 ページ)
- 2 **INPUT** : 入力を切り換える (INPUT 1 ~ 7) (19 ページ)
- 3 **SLEEP** : オフタイマーを設定する (18 ページ)
- 4 **RETURN** : 1 つ前のメニュー画面に戻る
- 5 **AV MODE** : 音声や映像の設定を切り換える
 - INPUT 1、2、3 のとき : STANDARD、MOVIE、GAME、USER、DYNAMIC (Fixed)、DYNAMIC
 - INPUT 4、5、6、7 のとき : STANDARD、MOVIE、GAME、PC、USER、DYNAMIC (Fixed)、DYNAMIC (19 ページ)
- 6 **DISPLAY** : 入力情報を表示する
- 7 **MUTE** : 音を一時的に消す (18 ページ)
- 8 **VOL + / -** : 音量を調整する (18 ページ)
- 9 **MENU** : メニューを表示する
- 10 **▲ / ▼ / ◀ / ▶, ENTER** : カーソルボタンで選び、決定する
- 11 **VIEW MODE** : 画面サイズを選ぶ (20 ページ)

おしらせ

- リモコンは本体に向けてお使いください。

準備する

本機にはブルーレイディスクプレーヤー、DVD プレーヤー、ビデオデッキ、デジタルテレビチューナー、HDMI 機器、ゲーム機、ビデオカメラなど、さまざまな種類の外部機器を接続できます。外部機器の映像を見るには、リモコンまたは本体の **INPUT** からご使用になる入力を選びます。(19 ページ)

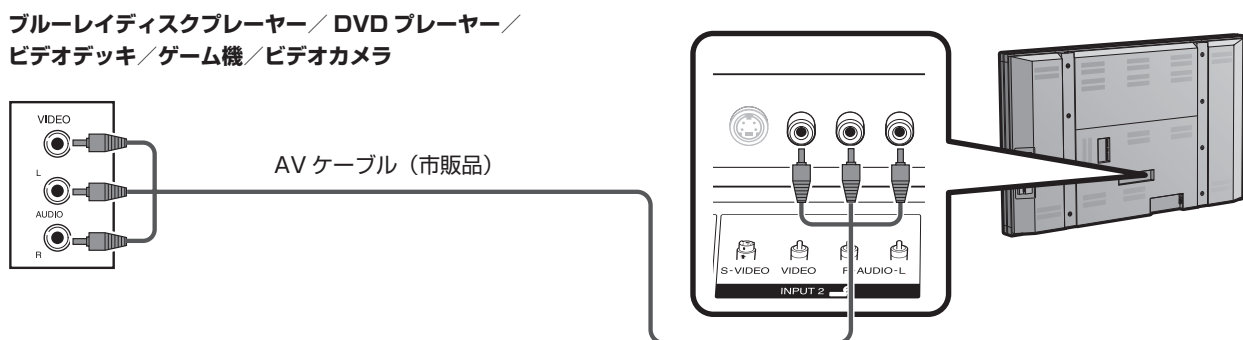
注意

- 機器を保護するため、接続の前に必ず本機の電源を切ってください。
- ご使用になる機器（ブルーレイディスクプレーヤーなど）の取扱説明書をよく読んでうえで、接続作業を行ってください。

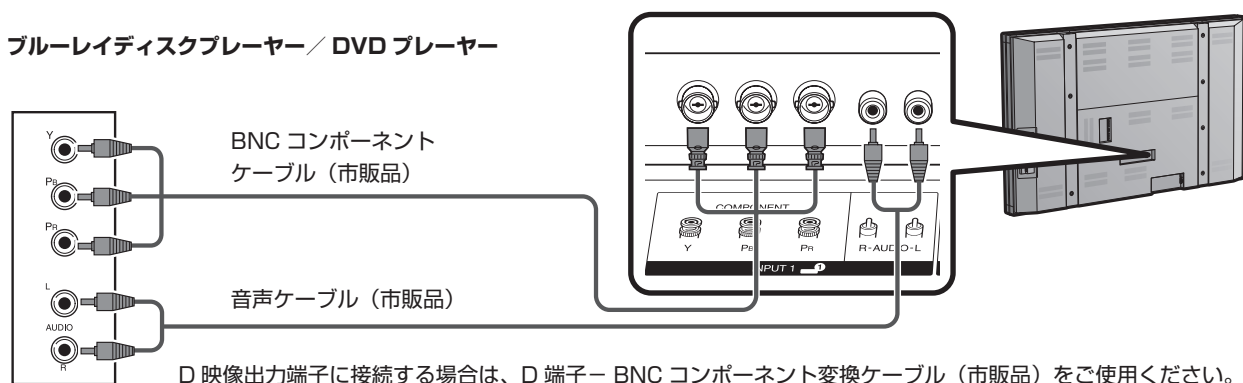
録画・再生機器をつなぐ

ブルーレイディスクプレーヤー、DVD プレーヤー、ビデオデッキ、ゲーム機、ビデオカメラを接続するときは、INPUT 1、2、3、7 の端子を使用できます。

コンポジットケーブルを使う場合 (INPUT 2 または 3)



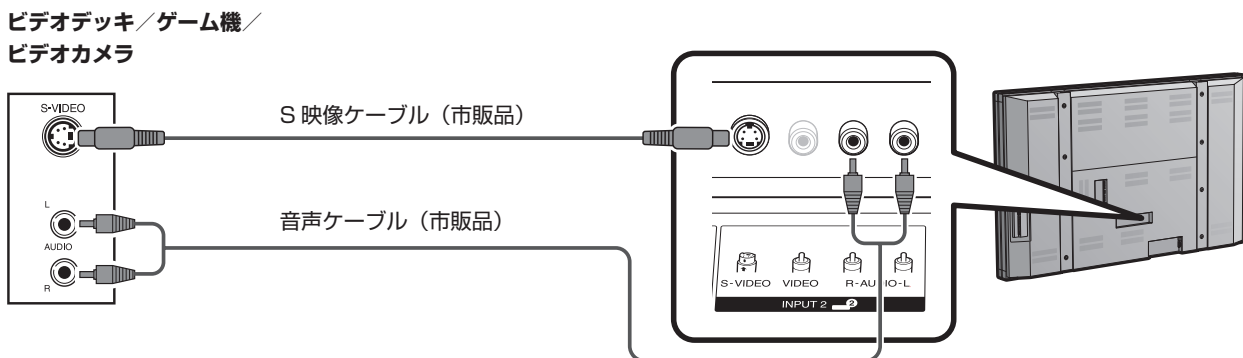
コンポーネントケーブルを使う場合 (INPUT 1 または 3)



おしらせ

- INPUT 1 は BNC タイプのケーブル、INPUT 3 は RCA タイプのケーブルを準備してください。

S 映像ケーブルを使う場合 (INPUT 2)



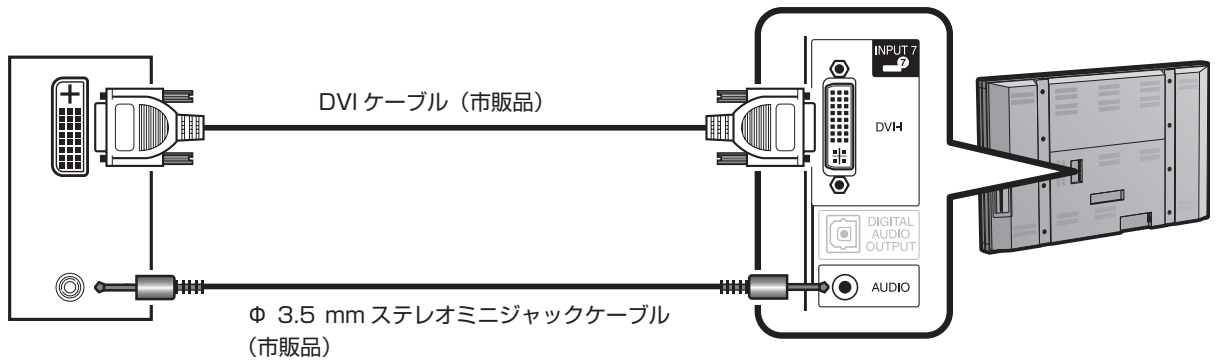
おしらせ

- S-VIDEO 端子は VIDEO 端子より優先されます。(INPUT 2 のみ)

準備する (つづき)

DVI ケーブルを使う場合 (INPUT 7)

ブルーレイディスクプレーヤー / DVD プレーヤー

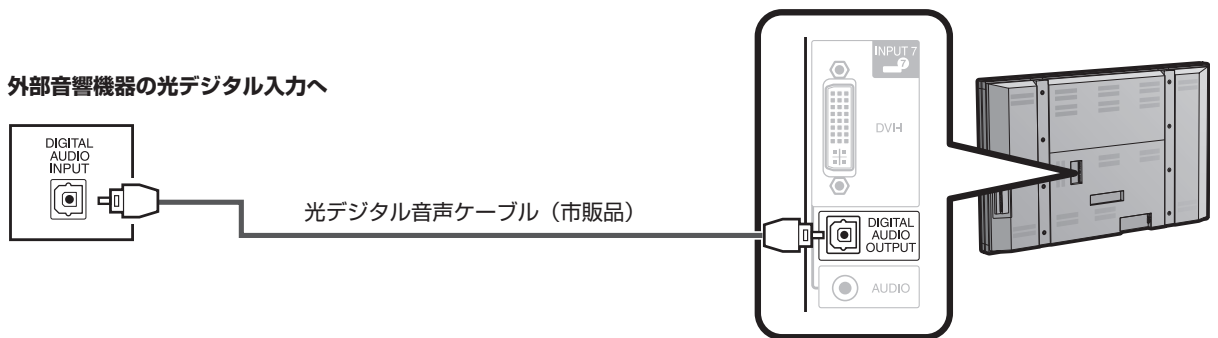


おしらせ

- 1080p の表示能力を楽しむには、コンポーネントケーブルまたは DVI ケーブルを使って外部機器を接続し、その機器の出力を 1080p に設定してください。

デジタル音声出力 (光) を使う

デジタル音声出力 (光) 端子を通して音声を出力することができます。PCM 音声信号はこの端子から出力されます。

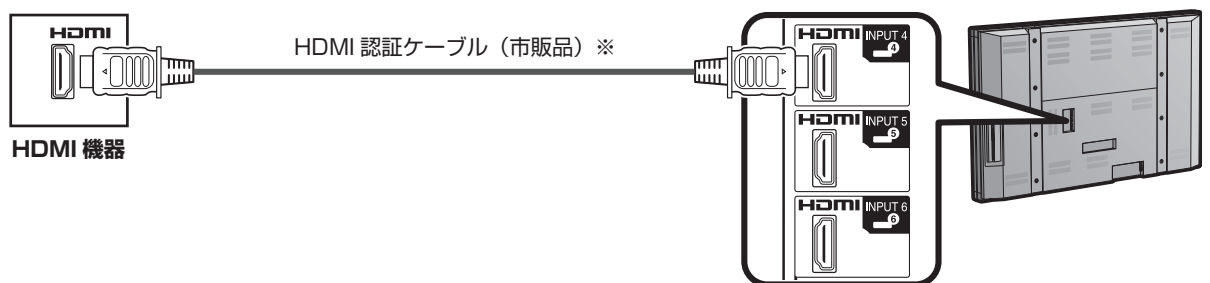


おしらせ

- 接続された機器によっては、HDMI 接続により音声をデジタル音声出力 (光) 端子から出力できません。この場合は、接続された機器のオーディオ形式を PCM、32/44.1/48 kHz に設定してください。

HDMI 機器をつなぐ

HDMI 機器を接続するときは、INPUT 4、5、6 の端子を使用できます。

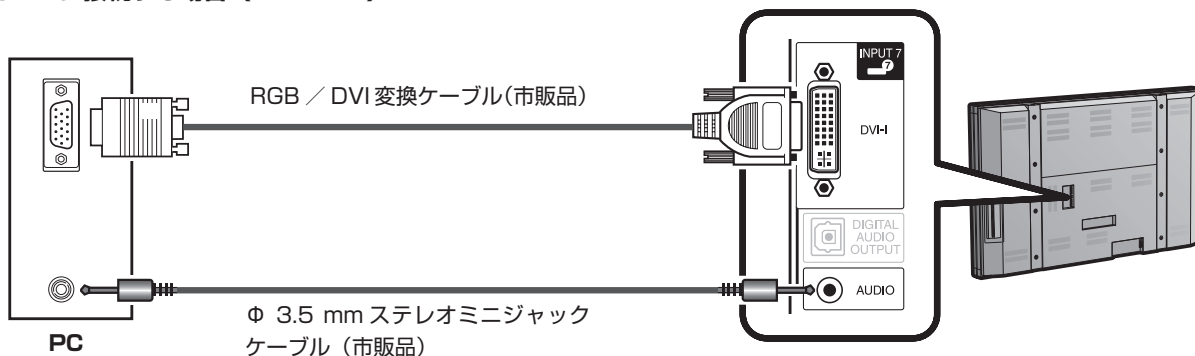


おしらせ

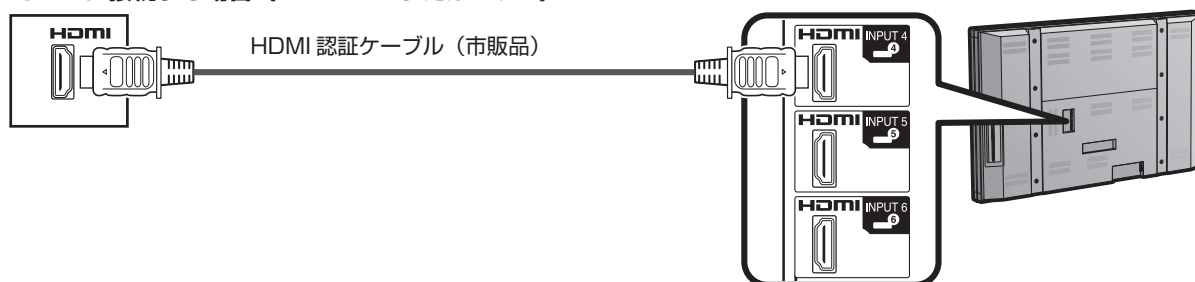
- HDMI、HDMI ロゴ、および High-Definition Multimedia Interface は、HDMI Licensing, LLC の商標または登録商標です。
 - HDMI-DVI 変換ケーブルを使うときは、音声信号を INPUT 6 の音声端子に入力してください。
 - 1080p の表示能力を楽しむには、HDMI 認証ケーブルを使ってブルーレイディスクプレーヤーまたはその他の外部機器を接続し、その機器の出力を 1080p に設定してください。
- ※ HDMI ケーブルは、必ず市販の HDMI 規格認証品をご使用ください。規格外のケーブルを使用した場合、映像が映らない、音が聞こえないなど、正常な動作ができません。
- ※ 再生機器でファミリンク等の HDMI CEC 機能を使用しないように設定してください。HDMI CEC 機能を使用すると、正しく動作しない場合があります。

PC をつなぐ

DVI 端子を使って PC に接続する場合 (INPUT 7)



HDMI 端子を使って PC に接続する場合 (INPUT 4 または 5、6)



おしらせ

- HDMI 端子はデジタル信号のみに対応しています。
- 本機を PC の DVI 端子に接続する場合は、RGB / DVI 変換ケーブルではなく DVI ケーブル (市販品) をお使いください。

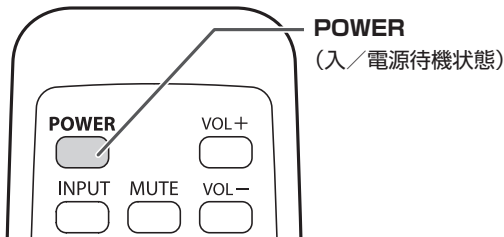
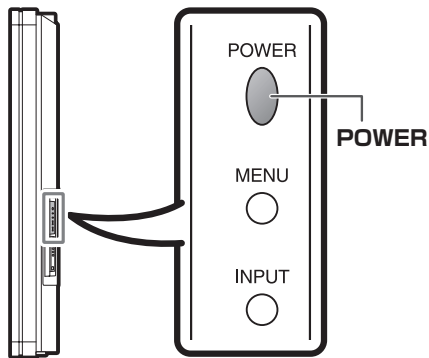
PC 対応表

XGA および WXGA 信号を表示するためには、PC を正しく設定する必要があります。PC 入力信号を設定するには、26 ページを参照してください。

PC	解像度 (ピクセル)	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)	VESA 規格	
PC	VGA	720 x 400	31.5 kHz	70 Hz	—
			31.5 kHz	60 Hz	O
		640 x 480	37.9 kHz	72 Hz	O
			37.5 kHz	75 Hz	O
	SVGA	800 x 600	35.1 kHz	56 Hz	O
			37.9 kHz	60 Hz	O
			48.1 kHz	72 Hz	O
			46.9 kHz	75 Hz	O
	XGA	1024 x 768	48.4 kHz	60 Hz	O
			56.5 kHz	70 Hz	O
			60.0 kHz	75 Hz	O
	WXGA	1360 x 768	47.7 kHz	60 Hz	O
	SXGA	1280 x 1024	64.0 kHz	60 Hz	O
	SXGA+	1400 x 1050	65.3 kHz	60 Hz	O
	UXGA	1600 x 1200	75.0 kHz	60 Hz	O
	720p	1280 x 720	37.5kHz	50Hz	—
			45.0kHz	60Hz	—
1080i	1920 x 1080	28.1kHz	50Hz	—	
		33.8kHz	60Hz	—	
1080p	1920 x 1080	56.3kHz	50Hz	—	
		67.5kHz	60Hz	—	

DDC は Video Electronics Standards Association の登録商標です。
VGA および XGA は International Business Machines Corp. の登録商標です。

電源を入れる／切る



本体側面またはリモコンの **POWER** を押して電源を「入」にする

- 電源ランプが青色に点灯します。(数秒後、音が鳴り初期設定画面が表示されます。)

おしらせ

- 初期設定画面は、本機の電源を初めて入れたときに表示されます。2回目以降は電源を入れても、初期設定画面は表示されません。設定メニューから初期設定を実行する場合は、25ページをご覧ください。
- 主電源が「切」の場合、**POWER** を押して電源を入れることはできません。

本体またはリモコンの **POWER** をもう一度押して電源を切る

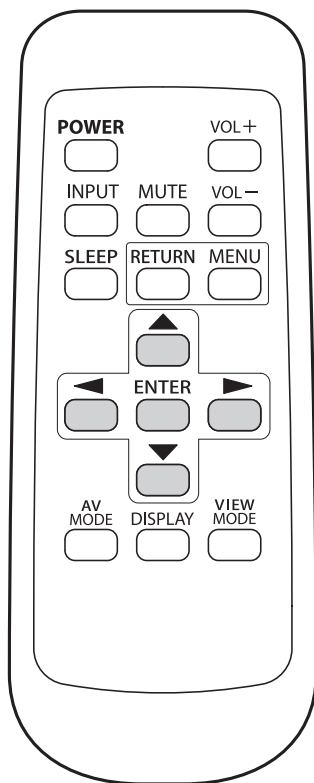
- 本機は電源待機状態に入り、画面上の映像が消えます。
- 本体前面の電源ランプが消灯します。

おしらせ

- 長期間にわたって本機をご使用にならない場合は、必ず電源コードのプラグをコンセントから抜いておいてください。
- 電源待機状態では、微少な電力が消費されています。

初期設定

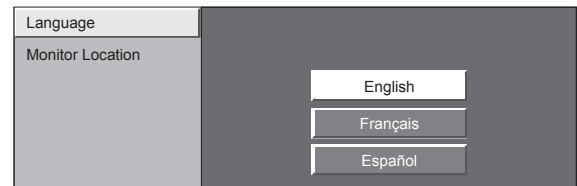
本機の電源を初めて入れると、初期設定画面が表示されます。ご希望の“Language (言語設定)” および “Monitor Location (設置場所)” を設定します。



Language (言語設定)

3つの言語(英語、フランス語、スペイン語)から選びます。

- 1 ▲ / ▼ を押してご希望の言語を選び、**ENTER** を押す



Monitor Location (設置場所)

本機を設置する場所として、“Home” または “Store” を選びます。

- 2 ◀ / ▶ を押して “Home” または “Store” を選び、**ENTER** を押す

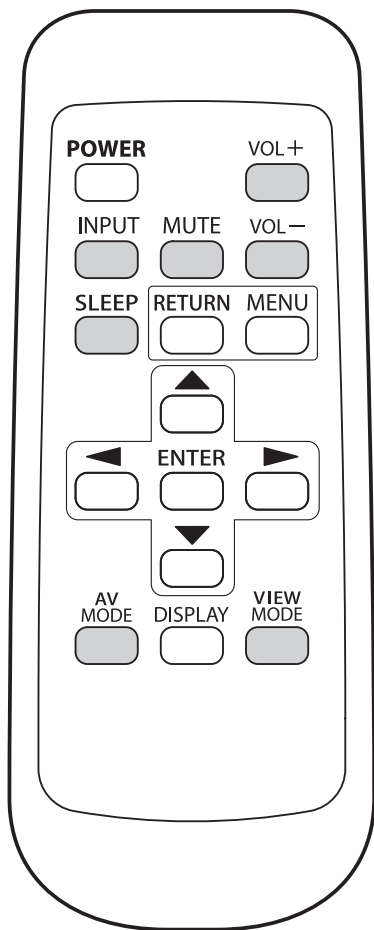
表示例



おしらせ

- “Home” を選ぶと、AV MODE は “STANDARD” に設定されます。
 - “Store” を選ぶと、AV MODE は “DYNAMIC (Fixed)” に設定されます。
- AV MODE の設定を変更しても、30分間操作しないと自動的に AV MODE は “DYNAMIC(Fixed)” に戻ります。
- 設定後に Monitor Location を変更する場合は、25ページの “EZ Setup” をご覧ください。

ボタンの使い方



音量を調整する

音量を調整するには、本体またはリモコンの **VOL + / -** を押します。

- 音量を上げるには、**VOL +** を押します。
- 音量を下げるには、**VOL -** を押します。



音声状態

出力機器	Output Select	
	Fixed	Variable
スピーカー	調整可	消音

- “Output Select” を “Variable” に設定すると、画面上のインジケータが次のように変化します。




おしらせ

- Output Select 機能について詳しくは 27 ページをご覧ください。

MUTE (消音)

一時的に音声を消すことができます。

1 MUTE を押す

- 画面上に “” が 30 分間表示され、音が消えます。

おしらせ

- **MUTE** を押してから 30 分以内に、**VOL + / -** または **MUTE** を押すと消音は取り消されます。
- **MUTE** を押してから 30 分経過すると、消音は取り消されます。音量は 0 にセットされるため、本機から急に大きな音が出ることはありません。

SLEEP (オフタイマー)

指定した時間が経過した後に、本機が自動的に待機状態に切り換わるように設定できます。

1 SLEEP を押す

- オフタイマーを設定すると、残り時間が表示されます。
- **SLEEP** を押すたびに、残り時間が次のように切り換わります。
Off → 30 → 60 → 90 → 120 (分)
- オフタイマー設定すると、自動的に残り時間のカウントダウンが始まります。
- オフタイマーを変更したい場合は、**SLEEP** を 2 回押して設定を変更してください。
- 残り時間が 5 分を切ると、1 分ごとに残り時間が表示されます。

おしらせ

- オフタイマーを取り消すには、**SLEEP** を押して “Off” を選んでください。
- 残り時間がゼロになると、本機は待機状態になります。
- オフタイマーを設定すると、本体前面の SLEEP ランプが赤色に点灯します。

INPUT (入力切換)

外部機器からの映像を見るには、リモコンまたは本体の **INPUT** を使って入力を選びます。

1 INPUT を押す

- 選択できる入力の一覧が表示されます。

2 もう一度 INPUT を押すか ▲ / ▼ を押して入力を選ぶ

- 選択した入力の映像が表示されます。
- **INPUT** を押すたびに、入力が切り換わります。
- 選択した入力に対応した外部機器が接続されていない場合、入力を変更することはできません。必ず該当する機器を接続しておいてください。

おしらせ

- 外部機器の接続については、14～16 ページをご覧ください。

AV MODE

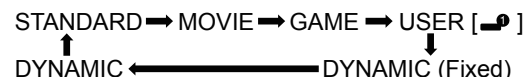
視聴している番組や外部機器の映像にあった画面モードを、いくつかの AV ポジションから選ぶことができます。

1 AV MODE を押す

- 現在の AV ポジションが表示されます。
- 表示が出ている間にもう一度 **AV MODE** を押します。AV ポジションが次のように切り換わります。

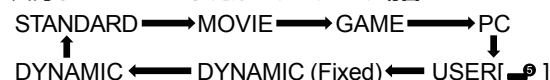
例：

入力が **INPUT 1** または **2、3** の場合



例：

入力が **INPUT 4** または **5、6、7** の場合



STANDARD：標準的な画面モードです。

[Enhanced Picture Contrast：入]

MOVIE：映画用の画面モードです。

[Enhanced Picture Contrast：切]

GAME：明るさを抑えた、目にやさしい画面モードです。

[Enhanced Picture Contrast：切]

PC：PC用の画面モードです。

[Enhanced Picture Contrast：切]

USER：ユーザーが好みに合わせて設定内容を調整できます。

入力ごとにモードを設定できます。

[Enhanced Picture Contrast：切]

DYNAMIC (Fixed)：映像と音声の設定を工場出荷時の設定に変更します。この設定のときは、映像調整や音声調整ができません。

[Enhanced Picture Contrast：入]

DYNAMIC：くっきりと色鮮やかな映像を楽しむことができます。スポーツ番組などに適したモードです。

[Enhanced Picture Contrast：入]

おしらせ

- 入力モードごとに異なる AV MODE (AV ポジション) を選べます。(例えば、INPUT 1 は STANDARD を、INPUT 2 は DYNAMIC を選択できます。)
- ゲームをするときには、AV ポジションを“GAME”にすることをお勧めします。
- “Enhanced Picture Contrast” 技術は、元となる映像の特性を検出し、それに応じて画面の明るさをスムーズに調整し、より深い黒レベルを実現します。

ボタンの使い方 (つづき)

VIEW MODE (画面サイズ)

画面サイズを選ぶことができます。

1 VIEW MODE を押す

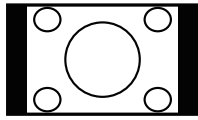
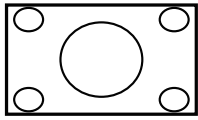
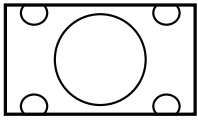
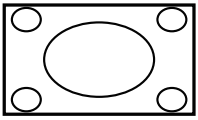
- 画面サイズ切換メニューが表示されます。
- メニューには、受信中の映像信号の種類に応じて選べる画面サイズの一覧が表示されます。

2 画面サイズ切換メニューが表示されている間に VIEW MODE または ▲ / ▼ を押してメニューから項目を選ぶ

- それぞれ独自の縦横比をもつ画面サイズを順番に選択できます。

■ 4 : 3 映像向け

例：画面サイズのイメージ

Side Bar (ノーマル)	S.Stretch (Smart stretch) (スマートズーム)	Zoom (シネマ)	Stretch (ワイド)
			
通常のテレビ (4 : 3) の映像をそのまま映します。	通常の 4 : 3 映像をより自然に拡大して映します。	ワイドスクリーン、2.35 : 1 シネマスコープ DVD を画面いっぱいに映します。	このモードは 1.78 : 1 の DVD に適しています。1.85 : 1 の DVD をワイドモードで見ると、画面の上下にごく細い黒い帯が出ます。

■ HD 映像向け

Stretch (ワイド) : ワイドスクリーン、縦横比 1.78 : 1 の映像を見るのに適します。

Dot by Dot (1080i/p のみ) : 入力信号の解像度ごとのパネル画素数で映します。

Full Screen (フル) (720p のみ) : “Full Screen (フル)” は、720p 信号を受信しているときに選択できます。

S.Stretch (Smart stretch) (スマートズーム) : 通常の 4 : 3 映像をより自然に拡大して映します。

Zoom (シネマ) : ワイドスクリーン、縦横比 2.35 : 1 の映像を画面いっぱいに映します。

おしらせ

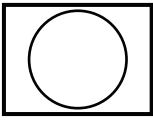
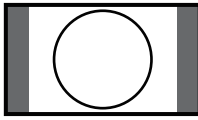
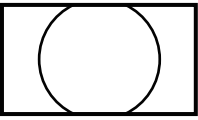
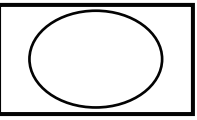
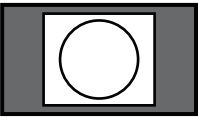
- Dot by Dot を使うと、画面の周辺部分にノイズや縞模様が現れることがあります。これを直すには、画面サイズを切り換えてください。

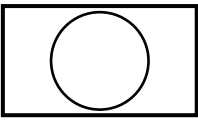
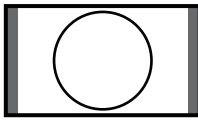
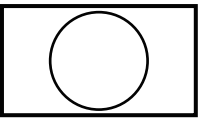
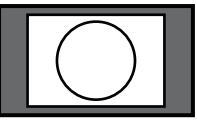
■ PC 入力モード向け

おしらせ

- PC モードで画面サイズを切り換える場合は、あらかじめ PC を接続しておいてください。(16 ページ)
- 入力信号により、選べる画面サイズが異なる場合があります。

例：画面サイズのイメージ

入力信号	Normal (ノーマル)	Zoom (シネマ)	Stretch (フル)	Dot by Dot
 4 : 3 映像	 入力信号の縦横比をくずさずに、画面の上下いっぱいに映します。	 入力信号の縦横比をくずさずに、画面の左右いっぱいまで拡大して映します。映像の上下が切れます。	 画面いっぱいに映します。	 入力信号の解像度ごとのパネル画素数で映します。

入力信号	Normal (ノーマル)	Stretch (フル)	Dot by Dot
 16 : 9 映像	 入力信号の縦横比をくずさずに、画面の上下いっぱいに映します。	 画面いっぱいに映します。	 入力信号の解像度ごとのパネル画素数で映します。

画面表示メニュー

メニュー項目の一覧

INPUT 1/2/3 モード向け

Picture (映像調整) メニュー

OPC (明るさセンサー)	23 ページ
Backlight (明るさ)	23 ページ
Contrast (映像)	23 ページ
Brightness (黒レベル)	23 ページ
Color (色の濃さ)	23 ページ
Tint (色あい)	23 ページ
Sharpness	23 ページ
Advanced (プロ設定)	
C.M.S.-Hue (カラーマネージメント-色相)	23 ページ
C.M.S.-Saturation (カラーマネージメント-彩度)	23 ページ
Color Temp. (色温度)	23 ページ
Quick Shoot (QS 駆動)	23 ページ
Active Contrast (アクティブコントラスト)	23 ページ
I/P Setting (I/P 設定)	24 ページ
Film Mode (フィルムモード)	24 ページ
Digital Noise Reduction	24 ページ
3D-Y/C (3次元設定)	24 ページ
Monochrome (モノクロ)	24 ページ
Range of OPC (明るさセンサー設定)	24 ページ
Reset (リセット)	23 ページ

Audio (音声調整) メニュー

Treble (高音)	24 ページ
Bass (低音)	24 ページ
Balance (バランス)	24 ページ
Surround (サラウンド)	24 ページ
Reset (リセット)	24 ページ

Power Control (省エネ設定) メニュー

No Signal Off (無信号オフ)	25 ページ
No Operation Off (無操作オフ)	25 ページ

Setup (本体設定) メニュー

EZ Setup (初期設定)	25 ページ
Input Skip (入力スキップ設定)	26 ページ
Input Label (入力表示選択)	26 ページ
Position (位置調整)	26 ページ
Language (言語設定)	26 ページ
Identification (バージョン情報)	26 ページ
Reset (リセット)	26 ページ

Option (機能切換) メニュー

Audio Only (映像オフ)	27 ページ
Input Select (入力信号タイプの選択)	27 ページ
Output Select (音声出力方法の選択)	27 ページ
Color System (映像信号方式の選択)	27 ページ
Game Play Time (ゲーム時間表示設定)	27 ページ
Operation Lock Out (操作ロック)	27 ページ

HDMI/DVI モード向け

Picture (映像調整) メニュー

OPC (明るさセンサー)	23 ページ
Backlight (明るさ)	23 ページ
Contrast (映像)	23 ページ
Brightness (黒レベル)	23 ページ
Color (色の濃さ)	23 ページ
Tint (色あい)	23 ページ
Sharpness	23 ページ
Advanced (プロ設定)	
C.M.S.-Hue (カラーマネージメント-色相)	23 ページ
C.M.S.-Saturation (カラーマネージメント-彩度)	23 ページ
Color Temp. (色温度)	23 ページ
Quick Shoot (QS 駆動)	23 ページ
Active Contrast (アクティブコントラスト)	23 ページ
I/P Setting (I/P 設定)	24 ページ
Film Mode (フィルムモード)	24 ページ
Digital Noise Reduction	24 ページ
Monochrome (モノクロ)	24 ページ
Range of OPC (明るさセンサー設定)	24 ページ
Reset (リセット)	23 ページ

Audio (音声調整) メニュー

Treble (高音)	24 ページ
Bass (低音)	24 ページ
Balance (バランス)	24 ページ
Surround (サラウンド)	24 ページ
Reset (リセット)	24 ページ

Power Control (省エネ設定) メニュー

No Signal Off (無信号オフ)	25 ページ
No Operation Off (無操作オフ)	25 ページ

Setup (本体設定) メニュー

EZ Setup (初期設定)	25 ページ
Input Skip (入力スキップ設定)	26 ページ
Input Label (入力表示選択)	26 ページ
Input Signal (入力解像度)	26 ページ
Auto Sync. (自動同期調整)	26 ページ
Fine Sync. (画面調整)	26 ページ
Position (位置調整)	26 ページ
Language (言語設定)	26 ページ
Identification (バージョン情報)	26 ページ
Reset (リセット)	26 ページ

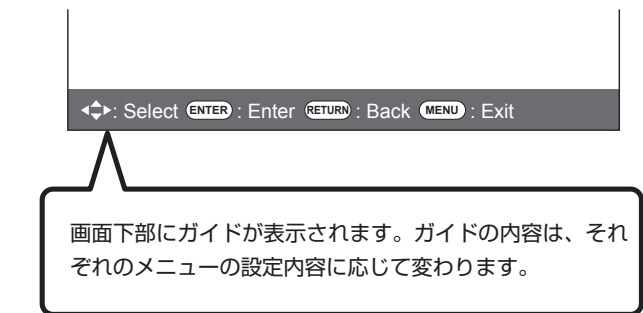
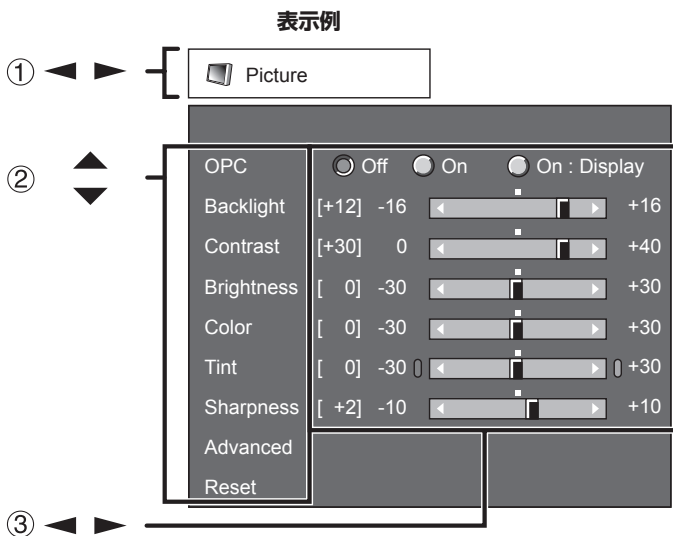
Option (機能切換) メニュー

Audio Only (映像オフ)	27 ページ
Input Select (入力信号タイプの選択)	27 ページ
HDMI Setup (HDMI 設定)	27 ページ
Output Select (音声出力方法の選択)	27 ページ
Game Play Time (ゲーム時間表示設定)	27 ページ
Operation Lock Out (操作ロック)	27 ページ

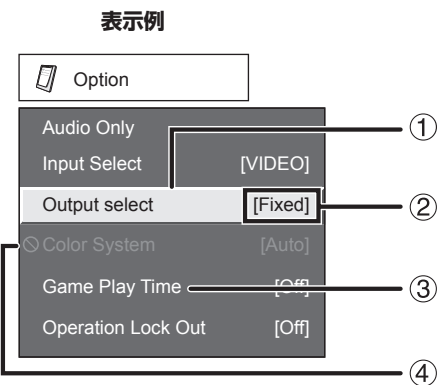
おしらせ

- 一部のメニュー項目は、選択した入力の種類によっては表示されないことがあります。

メニューの基本操作



- ① ◀ / ▶ を押してメニューを選ぶ
- ② ▲ / ▼ を押して項目を選ぶ
- ③ ◀ / ▶ を押して項目を調整する



- ① 黄色で表示された項目
 - 現在選択されている項目です。
 - **ENTER** を押すと、各調整画面に進みます。
- ② 括弧に入った項目
 - 現在の設定です。
- ③ 白字で表示された項目
 - 項目を選択できます。
- ④ 灰色で表示された項目
 - 項目を選択できません。
 - 項目を選択できない場合、下記の原因が考えられます。
 - － 選択した入力端子に何も接続されていない。
 - － 選択した機能が現在の入力信号に対応していない。

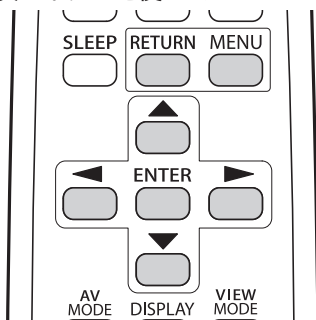
おしらせ

- メニューの選択可能項目は選択した入力モードによって異なりますが、同じ手順で設定することができます。
- 本書に掲載している画面のイラストは説明用のものであり、実際の画面とは多少異なることがあります。（イラストには拡大されたり、一部を切り取られたものがあります。）

メニュー操作ボタン

リモコンを使う

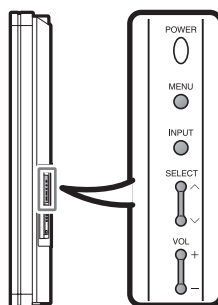
リモコンでは、次のボタンを使ってメニューを操作します。



- MENU** : メニュー画面を開いたり閉じたりします。
- ▲ / ▼ / ◀ / ▶** : 画面上で項目や数値を選びます。
- ENTER** : 選んだ項目を決定し、次へ進みます。
- RETURN** : 1 つ前のメニュー画面に戻ります。

本体側面のボタンを使う

本体側面のボタンでもメニューを操作できます。本体側面のボタンとリモコンのボタンは、下記のように対応しています。



- MENU** : リモコンの **MENU**
- INPUT** : リモコンの **ENTER**
- SELECT ▲ / ▼** : リモコンの **▲ / ▼**
- VOL + / -** : リモコンの **◀ / ▶**

Picture（映像調整）メニュー

映像をお好みに合わせて調整します。

表示例



- MENU** を押してメニュー画面を表示させ、**◀ / ▶** を押して“Picture”を選ぶ
- ▲ / ▼** を押して調整したい項目を選ぶ
 - “Advanced”を選択してから**ENTER**を押すと、“C.M.S.-Hue”または“C.M.S.-Saturation”、“Color Temp.”、“Quick Shoot”、“Active Contrast”、“I/P Setting”、“Film Mode”、“Digital Noise Reduction”、“3D-Y/C”、“Monochrome”、“Range of OPC”を設定できます。
- ▲ / ▼**（または**◀ / ▶**）を押して希望の設定を選び、**ENTER**を押す
- MENU** を押して終了する

項目	◀ ボタン	▶ ボタン
Backlight（明るさ）	画面が暗くなる	画面が明るくなる
Contrast（映像）	映像の明部と暗部の差を弱くする	映像の明部と暗部の差を強くする
Brightness（黒レベル）	画面を暗くする	画面を明るくする
Color（色の濃さ）	色を薄くする	色を濃くする
Tint（色あい）	肌色が赤みを帯びる	肌色が緑色を帯びる
Sharpness	画像の輪郭をやわらかくする	画像の輪郭をくっきりさせる

- 映像調整項目を工場出荷時の設定に戻すには、**▲ / ▼** を押して“Reset”を選び、**ENTER**を押します。**◀ / ▶** を押して“Yes”を選び、**ENTER**を押します。

OPC（明るさセンサー設定）

画面の明るさが自動的に調整されます。

- Off**：明るさが“Backlight”で設定した値に固定されます。
- On**：明るさが自動的に調整されます。
- On: Display**：自動的に明るさが調整され、現在の状態が画面に表示されます。

おしらせ

- “On”に設定すると、明るさセンサーが室内の照明状況など周囲の明るさを感知して、画面の明るさを自動的に調整します。明るさセンサー受光部の前にものを置かないでください。
- “On: Display”に設定すると、自動的に明るさが調整され、現在の状態が画面に表示されます。
- “On”または“On: Display”に設定すると、本機の明るさセンサーランプが緑色に点灯します。

Advanced（プロ設定）

本機には映像の質を最適にする機能があります。

C.M.S.（カラーマネージメントシステム）

色の構成要素となる6つの系統色を調整し、色相・彩度を変化させます。

- C.M.S.-Hue**：系統色の色相（赤み、青み）を調整します。
- C.M.S.-Saturation**：系統色の彩度を調整します。

おしらせ

- すべての調整項目を工場出荷時の設定に戻すには、**▲ / ▼** を押して“Reset”を選び、**ENTER**を押します。

Color Temp.（色温度）

色温度を選び、ホワイトバランスを調整できます。

- High**：青みがかった白
- Mid-High**：↕
- Middle**：↕
- Mid-Low**：↕
- Low**：赤みがかった白

ホワイトバランスは、色温度ごとに最大+30から最小-30まで調整できます。

- R Gain**：-30～+30
- G Gain**：-30～+30
- B Gain**：-30～+30

おしらせ

- すべての調整項目を工場出荷時の設定に戻すには、**▲ / ▼** を押して“Reset”を選び、**ENTER**を押します。

Quick Shoot（QS 駆動）

動きの速い映像をくっきりと、より見やすくする機能です。

- On**：Quick Shootを行います。
- Off**：通常の映像を表示します。

おしらせ

- Quick Shootを行うと、画面にノイズが現れることがあります。Quick Shootを“Off”に設定してください。

Active Contrast（アクティブコントラスト）

シーンに応じて映像のコントラストを自動的に調整します。

- On**：映像のコントラストを自動的に調整します。
- Off**：調整を行いません。

画面表示メニュー（つづき）

I/P Setting (I/P 設定)

映像の種類に応じて入力信号を変換します。

Fast : 動きの速い映像に適します。

Slow : チラツキの少ないなめらかな映像に適します。

おしらせ

- 映像の入力解像度が 480P または 720P、1080P のときは、“I/P Setting” は選択できません。

Film Mode (フィルムモード (3 : 2 ブルダウン))

フィルムを元にした映像 (24 コマ/秒で作成されたもの) を自動的に検出、解析します。フィルムの各コマを再現して質の高い映像を実現します。

On : フィルムを元にした映像を検出、解析して変換します。

Off : 通常の視聴モード。

おしらせ

- “AV Mode” を “Game” に設定すると、“Film Mode” は機能しません。
- 元の映像の入力解像度が 480P または 720P、1080P のときは、“Film Mode” は選択できません。

Digital Noise Reduction

ノイズを低減してビデオ映像をすっきりさせる機能です。

Off : 調整を行いません。

High : 効果が「強」に設定されます。

Low : 効果が「弱」に設定されます。

3D-Y/C (3 次元設定)

ドットずれとクロスカラーノイズを最小限に抑えて、質の高い映像を実現します。

Slow : 静止画に適します。

Standard : 通常の調整。

Fast : 動画に適します。

Off (2D) : ゲームモードに適します。

おしらせ

- 3D-Y/C は、入力がコンポジットビデオの場合に利用できます。

Monochrome (モノクロ)

白黒映像にします。

On : 白黒映像にします。

Off : 通常のカラー映像にします。

Range of OPC (明るさセンサー設定)

明るさセンサーが自動調整する明るさレベルの範囲を、お好みに合わせて設定できます。

明るさセンサーの調整範囲は、最大+ 16 から最小- 16 まで設定できます。

Max : - 15 ~ + 16

Min : - 16 ~ + 15

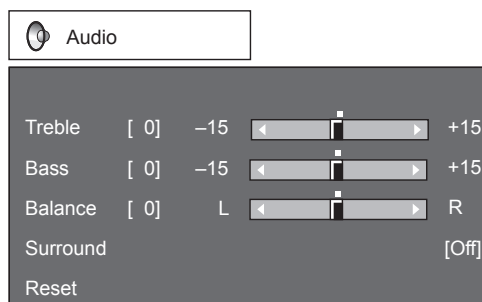
おしらせ

- 明るさセンサーの設定は、明るさセンサーが “On” のときのみ有効になります。
- 最大設定値は、最小設定値よりも小さい数値には設定できません。
- 最小設定値は、最大設定値よりも大きい数値には設定できません。
- 周囲の明るさにもよりますが、設定範囲が少ない場合は、明るさセンサーが働きません。

Audio (音声調整) メニュー

音質をお好みに合わせて調整できます。

表示例



1 **MENU** を押してメニュー画面を表示させ、◀ / ▶ を押して “Audio” を選ぶ

2 ▲ / ▼ を押して調整したい項目を選ぶ

- “Surround” を設定する場合は、**ENTER** を押すと設定画面が表示されます。

3 ▲ / ▼ (または ▶ / ▶) を押して希望の設定を選び、**ENTER** を押す

4 **MENU** を押して終了する

項目	◀ ボタン	▶ ボタン
Treble (高音)	高音を弱くする	高音を強くする
Bass (低音)	低音を弱くする	低音を強くする
Balance (バランス)	右スピーカーからの音量小	左スピーカーからの音量小

おしらせ

- Output Select が “Variable” に設定されているときは、音声調整は行えません。
- 音声調整項目を工場出荷時の設定に戻すには、▲ / ▼ を押して “Reset” を選び、**ENTER** を押します。◀ / ▶ を押して “Yes” を選び、**ENTER** を押します。

Surround (サラウンド)

サラウンド機能を使うと、臨場感のあるライブサウンドを楽しめます。

On : サラウンド機能を使います。

Off : 通常の音声を出力します。

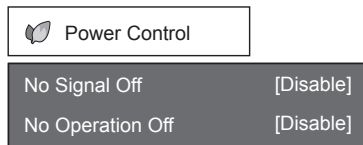
おしらせ

- Output Select が “Variable” に設定されているときは、音声調整は行えません。
- ディスクによっては、DVD プレーヤー側で設定が必要になることがあります。接続している DVD プレーヤーの取扱説明書をご覧ください。

Power Control（省エネ設定）メニュー

省エネ設定を使うと消費電力を節約できます。

表示例



- 1 MENU を押してメニュー画面を表示させ、◀ / ▶ を押して “Power Control” を選ぶ
- 2 ▲ / ▼ を押して “No Signal Off” または “No Operation Off” を選び、ENTER を押す
- 3 ◀ / ▶ を押して “Enable” を選び、ENTER を押す
- 4 MENU を押して終了する

No Signal Off（無信号オフ）

無信号オフを “Enable” に設定した場合、15 分以上入力信号を受信しないと、自動的に電源が切れます。

おしらせ

- 残り時間が 5 分を切ると、1 分ごとに残り時間が表示されます。
- 工場出荷時は 「Disable」 に設定されています。
- 外部機器のテレビチューナーでテレビ番組を視聴しているとき、テレビ番組が終了してもこの機能が動作しないことがあります。

No Operation Off（無操作オフ）

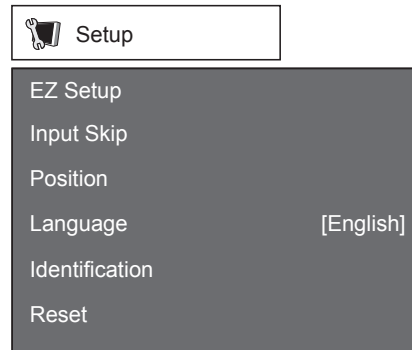
無操作オフを “Enable” に設定した場合、3 時間以上何も操作しないと、自動的に電源が切れます。

おしらせ

- 残り時間が 5 分を切ると、1 分ごとに残り時間が表示されます。
- 工場出荷時は 「Disable」 に設定されています。

Setup（本体設定）メニュー

表示例



- 1 MENU を押してメニュー画面を表示させ、◀ / ▶ を押して “Setup” を選ぶ
- 2 ▲ / ▼ を押して調整したい項目を選び、ENTER を押す
- 3 ▲ / ▼（または ◀ / ▶）を押して希望の設定を選び、ENTER を押す
- 4 MENU を押して終了する

EZ Setup（初期設定）

この機能を使うと、初期設定を変更できます。

Language : 3 つの言語（英語、フランス語、スペイン語）から表示する言語を選びます。

Monitor Location : 本機を設置する場所として、“Home” または “Store” を選びます。

- “Home” を選ぶと、AV MODE は “STANDARD” に設定されます。
- “Store” を選ぶと、AV MODE は “DYNAMIC (Fixed)” に設定されます。

おしらせ

- 各項目の設定方法については、17 ページの「初期設定」をご覧ください。

画面表示メニュー（つづき）

Input Skip（入カスキップ設定）

HDMI または PC 入力（INPUT 4～7）を飛ばして入力を切り換えたい（スキップする）場合に設定します。

Yes：入力をスキップします。

No：入力をスキップしません。

Input Label（入力表示選択）

接続している機器に合わせ、入力切替メニューなどに表示される機器の名称を変更できます。▲ / ▼ / ◀ / ▶ を押して、新しい名前を選んでください。

Input Signal（入力解像度） （アナログ PC 入力モードの場合のみ）

入力信号には、手動で登録しないと正しく表示されないものがあります。下記の入力信号（解像度）の組み合わせは、受信時には区別されません。正しい信号を手動で設定する必要があります。一度設定しておけば、同じ信号（解像度）が再び入力されたときにその信号が表示されます。

1024 × 768

1360 × 768

おしらせ

- 上記の入力信号を受信している場合のみ、Setup メニューで “Input Signal” が選択できます。

Auto Sync.（自動同期調整） （アナログ PC 入力モードの場合のみ）

PC から入力された映像が自動的に調整されます。

Yes：自動同期調整が行われます。調整中は、“Now adjusting the image” と表示されます。

No：自動同期調整を行いません。

おしらせ

- 自動同期調整が終了すると、“Completed” と表示されます。表示されない場合は、正常に終了していません。
- “Completed” と表示されても、正常に終了していないことがあります。
- パソコンの映像の解像度が低かったり、不明瞭な（黒い）エッジが出たり、自動同期調整を実行中にパソコンを動かしたりした場合も、正常に終了していません。
- 必ず PC を本機に接続して電源を入れてから、自動同期調整を起動させてください。

Fine Sync.（画面調整）

通常は Auto Sync. 機能を使用して、簡単に画面を調整できます。Auto Sync. を行っても最適な画面にならない場合は、手動で調整する必要があります。

H-Pos.：画像が右寄り、または左寄りのときに調整します。

V-Pos.：画像が上がり過ぎ、または下がり過ぎのときに調整します。

Clock：縦じま状のチラツキがあるときに調整します。

Phase：文字などを表示したときに、映像のチラツキが出たり、コントラストがつかないときに調整します。

おしらせ

- 画面調整項目を工場出荷時の設定に戻すには、▲ / ▼ を押して “Reset” を選び、ENTER を押します。
- デジタル信号の入力中は “Clock” または “Phase” を調整する必要はありません。（この項目は選択できません。）
- 画面位置の調整範囲が非対称の場合、既定のカーソル位置が中央でない場合があります。
- 画面位置の調整範囲は、画面サイズや信号の種類により異なります。

Position（位置調整）

画面の水平位置と垂直位置を調整します。

H-Pos.：画像が右寄り、または左寄りのときに調整します。

V-Pos.：画像が上がり過ぎ、または下がり過ぎのときに調整します。

おしらせ

- 調整項目を工場出荷時の設定に戻すには、▲ / ▼ を押して “Reset” を選び、ENTER を押します。
- PC を HDMI 端子につないだときは、画面位置は自動的に調整されます。手動で調整することはできません。
- 画面位置の調整範囲は、画面サイズや信号の種類により異なります。
- 調整内容は入力に応じて別々に記憶されます。

Language（言語設定）

本体設定メニューから言語を設定できます。3 つの言語（英語、フランス語、スペイン語）から表示する言語を選びます。

Identification（バージョン情報）

本機のソフトウェアの現在のバージョン（上段）とバックライトのおおよその使用時間（下段）を表示します。

バックライトの使用時間は 500 時間単位で表示します。バックライト交換時期の目安としてください。

おしらせ

- 使用時間には、工場での検査などの使用も含んでいます。

Reset（リセット）

複雑な調整を行うなどして、設定が通常の状態に復元できない場合に、工場出荷時の設定に戻すことができます。

1 画面に “Return to the factory preset values” と表示される

2 “Yes” を選ぶ

- 画面に “Now, Monitor will restart automatically, OK?” と表示されます。

3 “Yes” を選ぶ

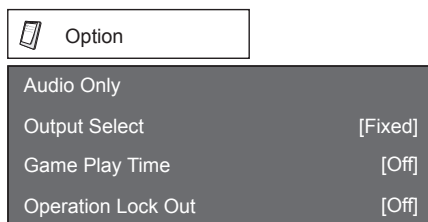
- 画面に “Now, initializing...” と表示され、点滅します。リセットが終了すると、自動的に本機の電源が切れ、再び電源が入ります。元の設定画面が表示されます。

おしらせ

- Language（言語設定）は変更されません。
- Monitor Location（設置場所）は変更されません。

Option（機能切換）メニュー

表示例



- 1 MENU を押してメニュー画面を表示させ、◀ / ▶ を押して“Option”を選ぶ
- 2 ▲ / ▼ を押して調整したい項目を選び、ENTER を押す
- 3 ▲ / ▼（または◀ / ▶）を押して希望の設定を選び、ENTER を押す
- 4 MENU を押して終了する

Audio Only（映像オフ）

音楽番組で音楽を聴くときなど、映像を消して、音声だけを楽しむことができます。

- On：映像を消して、音声だけを楽しめます。
- Off：映像と音声を楽しむ通常の状態にします。

おしらせ

- 選択ボタンなど、(VOL、MUTE など、音声に関連のあるボタン以外) を押すと、映像は通常の状態に戻ります。

Input Select（入力信号タイプの選択）

INPUT 3 または INPUT 7 (DVI) に接続した外部機器からの映像がくっきりと映らない場合は、入力信号タイプの設定を変更してください。

■ 入力信号タイプを選ぶ（INPUT 3）

入力信号タイプを下記から選択します。

Auto/COMPONENT/VIDEO

おしらせ

- 選択した入力信号タイプが正しくないと、映像が全く表示されなかったり、色なしで表示されたりします。
- 入力信号タイプについては外部機器の取扱説明書をご覧ください。
- Auto に設定した場合、本機は入力信号を自動的に選択します。
- 別の機器が接続されているときに AUTO を設定すると、接続の優先順位は次のようになります。
 - ① COMPONENT VIDEO
 - ② VIDEO

■ 入力信号タイプを選ぶ（INPUT 7）

入力信号タイプを下記から選択します。

Auto/DIGITAL/ANALOG

HDMI Setup（HDMI 設定）

HDMI 端子に接続した機器の映像を見るには、リモコンまたは本体の **INPUT** を使ってメニューから“INPUT 4”または“INPUT 5”、“INPUT 6”を選びます。

Auto View：

Enable：HDMI 信号に含まれる識別信号に基づいて画面サイズを切り換えるときに選択します。

Disable：この機能は動きません。

Audio Select：

Digital：HDMI 端子に音声信号を入力します。

Analog：AUDIO 端子に音声信号を入力します。

おしらせ

- 信号タイプについては外部機器の取扱説明書をご覧ください。
- INPUT 6 の場合のみ、“Audio Select”を選択できます。
- HDMI-DVI 変換アダプター／ケーブルを HDMI 端子につなぐと、映像がくっきりと映らないことがあります。

Output Select（音声出力方法の選択）

音声出力を制御する方法を選ぶことができます。

Fixed：スピーカー経由の音声を、リモコンの **VOL + / -** または本体の **VOL + / -** で調整します。

AUDIO OUTPUT 端子経由の音声は調整されず、一定のレベルで出力されます。

Variable：AUDIO OUTPUT 端子経由の音声を、リモコンの **VOL + / -** または本体の **VOL + / -** で調整します。

スピーカー経由の音声は消音となります。

Color System（映像信号方式の選択）

お使いの機器に対応した映像信号方式を、下記から選びます。

Auto/NTSC/PAL

おしらせ

- “Color System” は INPUT 2 および INPUT の 3 VIDEO についてのみ設定できます。

Game Play Time（ゲーム時間表示設定）

ゲームに夢中になって時間を忘れないように、ゲームを始めてからの経過時間を表示します。経過時間を表示するには、ゲームを始める前に AV MODE で“GAME”を選んでください。

On：AV MODE が GAME のとき、30 分ごとに経過時間が表示されます。

Off：経過時間は表示されません。

Operation Lock Out（操作ロック）

本体およびリモコンの操作ボタンをロックします。

Off：操作ボタンをロックしません。

RC Control Lock：リモコンのすべてのボタンがロックされます。

Button Control Lock：POWER を除いた本体のすべてのボタンがロックされます。

おしらせ

- リモコンのボタンのロックを解除するには、本体の **MENU** を押して、メニュー画面で“Off”を選びます。
- 本体のボタンのロックを解除するには、リモコンの **MENU** を押して、メニュー画面で“Off”を選びます。

故障かな？と思ったら

こんなときに	ここをお確かめください
<ul style="list-style-type: none"> 電源が入らない 	<ul style="list-style-type: none"> リモコンの POWER を押したか確認してください。(17 ページ) 本機の電源ランプが点灯していない場合は、本機の POWER を押します。 電源コードがはずれていませんか？ (9 ページ) 主電源を入れましたか？ (9 ページ) 電源を入れましたか？ (9 ページ)
<ul style="list-style-type: none"> 操作できない 	<ul style="list-style-type: none"> 照明や静電気などの外的影響が誤動作の原因になることがあります。本機の電源を切るか電源プラグをコンセントから抜き、1～2分後に再び差し込んでください。
<ul style="list-style-type: none"> リモコンが動作しない 	<ul style="list-style-type: none"> 乾電池の極性 (+、-) が逆になっていませんか？ (10 ページ) 乾電池が消耗していませんか？ (新しい電池と交換してください) 強い照明や蛍光灯の下で使っていませんか？ リモコン受光部の近くで蛍光灯を点灯していませんか？
<ul style="list-style-type: none"> 画像が切れる 	<ul style="list-style-type: none"> 画像位置調整は正しいですか？ (26 ページ) 画像サイズなどの画面モード調整は正しく行われていますか？ (20 ページ)
<ul style="list-style-type: none"> 色がおかしい、色が薄い、色がずれる 	<ul style="list-style-type: none"> 色あいを調整してください。(23、24 ページ) 部屋が明るすぎませんか？室内が明るすぎると映像が暗く見えることがあります。 入力信号設定を確認してください。(26 ページ)
<ul style="list-style-type: none"> 急に電源が切れる 	<ul style="list-style-type: none"> オフタイマーをセットしていませんか？ (18 ページ) 省エネ設定を確認してください。(25 ページ) 本機の内部温度が上がっています。通風口をふさいでいるものがあれば取り除くか、拭き取ってください。
<ul style="list-style-type: none"> 映像が出ない 	<ul style="list-style-type: none"> 外部機器は正しく接続されていますか？ (14～16 ページ) 外部機器を接続した後で正しい入力信号が選ばれていますか？ (27 ページ) 正しい入力選ばれていますか？ (27 ページ) 画像調整は正しいですか？ (23、24 ページ) “Audio Only” で “On” が選択されていませんか？ (27 ページ) 対応していない信号が入力されていませんか？ (16 ページ)
<ul style="list-style-type: none"> 音が出ない 	<ul style="list-style-type: none"> 外部スピーカーの接続ケーブルは正しく接続されていますか。(8 ページ) 音量調整が最小になっていませんか？ (18 ページ) “Output Select” で “Variable” が選択されていませんか？ (27 ページ) リモコンで MUTE を押しませんでしたか？ (18 ページ)
<ul style="list-style-type: none"> ときどき「ビシッ」と音がする 	<ul style="list-style-type: none"> これは故障ではありません。温度の変化によってキャビネットがわずかに伸縮するときに起こります。本機の性能に影響することはありません。

高温または低温の環境での使用に関するご注意

- 低温になる場所（部屋やオフィスなど）で本機を使用すると、画像が尾を引いて見えたり、少し遅れたように見えることがありますが、故障ではありません。常温に戻れば回復します。
 - 高温または低温になる場所に本機を放置しないでください。また、直射日光が当たる場所や熱器具の近くに置かないでください。キャビネットの変形や、液晶パネルの故障の原因になることがあります。
- 保管温度：- 20° C ～ + 60° C

RS-232C ポート仕様

■ 本機を PC (パソコン) で制御する

PC の COM ポート (RS-232C コネクタ) と本機の RS-232C 端子を RS-232C ケーブル (クロスタイプ、市販品) で接続します。

おしらせ

- PC を使い慣れた方のご利用をお願いします。

■ 通信条件

PC 側の RS-232C 通信仕様を、本機の通信仕様に合わせてください。本機の仕様は、次のとおりです。

ボーレート	9600bps
データ長	8ビット
パリティ	なし
ストップビット	1ビット
フロー制御	なし

■ 通信手順

PC から RS-232C コネクタを通じて、制御コマンドを送信します。

本機は、送られたコマンドに応じて動作し、レスポンスメッセージを PC 側に送ります。

複数のコマンドを同時に送信しないでください。正常時の戻り値 (OK) を受けとってから、次のコマンドを送信するようにしてください。

■ コマンド一覧

- 下の表に掲載されている以外のコマンドについては動作保証範囲外です。

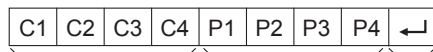
制御項目	コマンド	パラメータ	制御内容
電源オンコマンド設定	R S P W O	0 _ _ _	オフ
		1 _ _ _	オン
電源	P O W R O	0 _ _ _	電源オフ
		1 _ _ _	電源オン
入力切替 (INPUT)	I T G D X	0 ~ 9	トグルで入力切替 (INPUT ボタンと同じ)
		INPUT1 ~ 7	INPUT1 ~ 7 に入力切替
入力選択 (INPUT SELECT)	I N P 3 * _ _ _	0: Auto, 1: VIDEO, 2: COMPONENT	入力切替含む
		INPUT7	
AV MODE	A V M D * _ _ _	0: (Toggle), 1: STANDARD, 2: MOVIE, 3: GAME, 4: USER, 5: DYNAMIC(Fixed), 6: DYNAMIC, 7: PC	現在選択できるものの中でトグル動作
音量	V O L M * * _ _ _	音量 (0 ~ 60)	
位置調整 画面調整	H P O S * * * _ _ _	水平位置	調整範囲は「VIEW MODE」または信号タイプに依存。
		垂直位置	
画面サイズ (VIEW MODE)	W I D E * _ _ _	クロック周波数	PC 入力時のみ有効 (0 ~ 180)
		クロック位相	PC 入力時のみ有効 (0 ~ 40)
画面サイズ (VIEW MODE)	W I D E * _ _ _	0: (Toggle) [AV], 1: Side Bar [AV], 2: S.Stretch [AV], 3: Zoom [AV], 4: Stretch [AV], 5: Normal [PC], 6: Zoom [PC], 7: Stretch [PC], 8: Dot by Dot [PC] [AV], 9: Full Screen [AV]	0: 現在選択できるものの中でトグル動作 1: 4: 3 信号入力時のみ有効 5, 6: 4: 3 信号入力時のみ有効 8: [PC] UXGA 入力時以外で有効 [AV] 1080i/p 入力時のみ有効 9: 720p 入力時のみ有効
消音	M U T E * _ _ _	0: トグル, 1: 消音, 2: 消音解除	
サラウンド	A C S U * _ _ _	0: トグル, 1: 入, 2: 切	
オフタイマー	O F T M * _ _ _	0: 解除, 1: オフタイマー 30 分, 2: オフタイマー 1 時間, 3: オフタイマー 1 時間 30 分, 4: オフタイマー 2 時間	

おしらせ

- 引数の列にアンダーバー () がある場合は、スペースを入力します。
- アスタリスク (*) がある場合は、「制御内容」で示された数値を入力します。
- "X" は「0」 ~ 「9」のどの数値でもかまいません。

■ コマンド形式

アスキー 8 文字 + CR



コマンド (4 桁) パラメータ (4 桁) リターンコード

コマンド (4 桁): テキスト 4 文字。

パラメータ (4 桁): 引数 0 ~ 9、x、スペース、?

■ パラメータ (引数)

引数は左詰めで入力し、残りはスペースで埋めます。(必ず 4 文字にしてください。)

設定可能範囲外の場合、「ERR」が返ります。(「応答コード形式」を参照。)

0 _ _ _

いくつかのコマンドは、引数に「?」を

0 0 0 9

与えることにより、現在の

? _ _ _

設定値を返します。

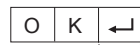
- 3 0 _

? ? ? ?

■ 応答コード形式

正常時

異常発生時 (通信エラーまたはコマンドに誤りがあったとき)



リターンコード (ODH)



リターンコード (ODH)

おもな仕様

形名	LB-1085		
液晶パネル	108V 型ワイド ASV 低反射ブラック TFT 液晶 (対角寸法：2,732.7 mm)		
最大解像度	1,920 × 1,080		
音声出力	15W × 2 (4 Ω)		
端子	背面	INPUT 1	COMPONENT 入力、音声入力
		INPUT 2	AV 入力、S-VIDEO 入力
		INPUT 4	HDCP 対応 HDMI 入力
		INPUT 5	HDCP 対応 HDMI 入力
		INPUT 6	音声入力、HDCP 対応 HDMI 入力
		INPUT 7	HDCP 対応 DVI-I 入力、音声入力 (φ 3.5mm ジャック)
		DIGITAL AUDIO OUTPUT	光学デジタル音声出力 × 1 (PCM)
		OUTPUT	音声出力
		RS-232C	9 ピン D-sub コネクター
		側面	INPUT 3
OSD 言語	英語／フランス語／スペイン語		
使用電源	AC200V (単相三線式)・50/60Hz		
消費電力	1,130 W (待機時 0.8 W)		
本体質量	スタンド*1 装着時	250 kg	
	ディスプレイ部のみ	195 kg	
外形寸法*2 (突起部を除く)	スタンド*1 装着時	幅 2572 × 奥行 600 × 高さ 1815 (mm)	
	ディスプレイ部のみ	幅 2572 × 奥行 204 × 高さ 1591 (mm)	
使用温度	0℃～40℃		

*1 出荷時のスタンドの場合。

*2 寸法図は 34 ページに示してあります。高さはアイボルトを含みます。

■ この製品は付属品を含め、改良のため予告なく変更することがあります。

■ TFT カラー液晶パネルは、非常に精密度の高い技術で作られておりますが、画面の一部に点灯しない画素や常時点灯する画素が存在する場合があります。また、見る角度によっては、色のムラや明るさのムラが生じる場合がありますが、いずれも本機の動作に影響を与える故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。

■ JIS C 61000-3-2 適合品

本機で使用しているソフトウェアのライセンス情報

■ ソフトウェア構成

本機に組み込まれているソフトウェアは、それぞれ当社または第三者の著作権が存在する、複数の独立したソフトウェアコンポーネントで構成されています。

■ 当社開発ソフトウェアとフリーソフトウェア

本機のソフトウェアコンポーネントのうち、当社が開発または作成したソフトウェアおよび付帯するドキュメント類には当社の著作権が存在し、著作権法、国際条約およびその他の関連する法律によって保護されています。

また本機は、第三者が著作権を所有しフリーソフトウェアとして配布されているソフトウェアコンポーネントを使用しています。それらの一部には、GNU General Public License (以下、GPL)、GNU Lesser General Public License (以下、LGPL) またはその他のライセンス契約の適用を受けるソフトウェアコンポーネントが含まれています。

■ ソースコードの入手方法

フリーソフトウェアには、実行形式のソフトウェアコンポーネントを配布する条件として、そのコンポーネントのソースコードの入手を可能にすることを求めるものがあります。GPL および LGPL も、同様の条件を定めています。こうしたフリーソフトウェアのソースコードの入手方法ならびに GPL、LGPL およびその他のライセンス契約の確認方法については、以下の WEB サイトをご覧ください。

http://www.sharp.co.jp/lcd-display/corporate/support/download/source_j.html (シャープ GPL 情報公開サイト)

なお、フリーソフトウェアのソースコードの内容に関するお問い合わせはご遠慮ください。

また当社が所有権を持つソフトウェアコンポーネントについては、ソースコードの提供対象ではありません。

■ 謝辞

本機には以下のフリーソフトウェアコンポーネントが組み込まれています。

- linux kernel
- busybox
- uClibc
- zlib
- libpng
- libjpeg

保証とアフターサービス

■ 製品の保証について

保証書は内容をよくお読みのうえ大切に保存してください。
保証期間はご購入の日から1年間です（ただし、光源の蛍光管は消耗品ですので、保証の対象になりません）。
保証期間中でも修理は有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。
保証書が適用される範囲は、製品のハードウェア部分に限らせていただきます。
製品のハードウェア部分に起因しない不具合について復旧作業を行う場合は、別途作業費を申し受けます。

■ 修理を依頼される時は（出張修理）

先に「故障かな？と思ったら」（28ページ）をお読みのうえ、もう一度お調べください。それでも異常があるときは、使用をやめて、電源コードをコンセントから抜き、ご購入の販売店またはもよりのお客様ご相談窓口（33ページ）にご連絡ください。ご自分での修理はしないでください。たいへん危険です。

ご連絡していただきたい内容

- ・品名：液晶モニター
- ・形名：LB-1085
- ・ご購入日（年月日）
- ・故障の状況（できるだけ具体的に）
- ・ご住所（付近の目印も併せてお知らせください。）
- ・お名前
- ・電話番号
- ・訪問希望日

保証期間中

保証書をご提示ください。保証書の規定に従って修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料で修理させていただきます。

修理料金のしくみ

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。
出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の料金です。

アフターサービスについてわからないことは、ご購入の販売店またはもよりのお客様ご相談窓口（33ページ）にお問い合わせください。

お客様ご相談窓口のご案内

修理・使いかた・お手入れなどのご相談・ご依頼、および万一、製品による事故が発生した場合は、ご購入の販売店、または下記窓口にお問い合わせください。
※電話番号をお確かめのうえ、お間違いないようにおかけください。


<シャープサポートページ>
<http://www.sharp.co.jp/lcd-display/corporate/support/>



使いかたのご相談など

使いかたや接続されているシステムに関するご相談は、ご購入の販売店・営業担当にお問い合わせください。

なお、製品に関するご質問（仕様など）は、下記でもお受けいたします。

シャープ株式会社情報システム事業本部ビジネスソリューション機器事業部

03-3260-8333	〒162-8408 東京都新宿区市谷八幡町8番地
0743-55-6373	〒639-1186 奈良県大和郡山市美濃庄町492番地

受付時間 月曜～金曜：9:00～17:00
 （土曜・日曜・祝日など弊社休日は休ませていただきます。）



修理のご相談など

【修理ご相談窓口】（沖縄地区を除く）

シャープドキュメントシステム株式会社



0570-00-5008（●全国どこからでも一律料金でご利用いただけます。）
（●携帯電話からもご利用いただけます。）

受付時間 月曜～土曜：9:00～17:40（日曜・祝日など弊社休日は休ませていただきます。）

■PHS・IP電話をご利用の方は…

東日本地区	03-3810-8604
西日本地区	06-6794-9676

■沖縄地区の方は…

沖縄シャープ電機株式会社 **098-861-0866**
 （月曜～金曜：9:00～17:30）
 （土曜・日曜、祝日など弊社休日は休ませていただきます。）



持込修理や部品購入のご相談は、下記窓口でも承っております。

北海道 札幌技術センター (011)641-0751 〒063-0801 札幌市西区二十四軒1条7-3-17 函館出張所 (0138)52-5190 〒040-0001 函館市五稜郭町31-17 帯広出張所 (0155)21-2881 〒080-0011 帯広市西1条南26-19-1 旭川技術センター (0166)22-8284 〒070-0031 旭川市一条通4左10 青森 青森技術センター (017)738-7778 〒030-0121 青森市妙見3-3-4 八戸出張所 (0178)45-2631 〒031-0802 八戸市小中野2-8-16 岩手 岩手技術センター (019)638-6085 〒020-0891 紫波郡矢巾町流通センター南3-1-1 秋田 秋田技術センター (018)865-1258 〒010-0941 秋田市川尻町字大川反170-56 宮城 仙台技術センター (022)288-9161 〒984-0002 仙台市若林区卸町東3-1-27 福島 福島技術センター (024)959-1421 〒963-0547 郡山市喜久田町卸3-27-2 新潟 新潟技術センター (025)284-6023 〒950-0965 新潟市中央区新光町9番2 長岡出張所 (0258)23-1850 〒940-1104 長岡市埴田屋町字崩2600 栃木 宇都宮技術センター (028)634-0256 〒320-0833 宇都宮市不動前4-2-41 群馬 前橋技術センター (027)252-7311 〒371-0855 前橋市問屋町1-3-7 茨城 水戸技術センター (029)243-0909 〒310-0851 水戸市千波町1963 埼玉 埼玉技術センター (048)666-7148 〒331-0812 さいたま市北区宮原町2-107-2 埼玉西技術センター (049)285-7294 〒350-2211 鶴ヶ島市御折町3-14-20 埼玉東技術センター (048)979-6459 〒343-0804 越谷市南萩島346-1 千葉 千葉技術センター (043)299-8855 〒261-8520 千葉市美浜区中瀬1-9-2 西千葉技術センター (047)368-8346 〒270-2231 松戸市松台6-6-1 東京 東京フィールドサポートセンター ソリューションシステム技術部 サポートセンター (03)3624-7476 〒130-8610 東京都墨田区石原2-12-3 西東京技術センター (042)548-1931 〒190-0023 東京都立川市柴崎町6-10-17	山梨 山梨出張所 (055)228-3833 〒400-0049 甲府市富竹2-1-17 神奈川 横浜技術センター (045)753-9540 〒235-0036 横浜市磯子区中原1-2-23 長野 松本技術センター (0263)85-4118 〒399-0031 松本市芳川小屋84-1 長野出張所 (026)293-6360 〒388-8014 長野市篠ノ井塩崎東田沢6877-1 富山 富山技術センター (076)451-3933 〒930-0997 富山市新北庄町5-6-3 石川 金沢技術センター (076)249-9033 〒921-8801 石川郡野々町町御経塚4-103 福井 福井出張所 (0776)53-6050 〒918-8206 福井市北四ツ居町625 岐阜 岐阜技術センター (058)274-7996 〒500-8358 岐阜市六条南3-12-9 静岡 静岡技術センター (054)344-5621 〒424-0067 静岡市清水区鳥坂1170-1 沼津出張所 (055)924-1028 〒410-0062 沼津市宮前町11-4 浜松技術センター (053)423-1660 〒435-0051 浜松市東区市野町2565-1 愛知 名古屋技術センター (052)332-2758 〒454-0011 名古屋市中川区山王3-5-5 豊橋技術センター (0532)54-1830 〒440-0086 豊橋市下地町橋口17-1 岡崎出張所 (0564)33-7178 〒444-0904 岡崎市西大友町字穴六90-1 三重 三重技術センター (059)231-1573 〒514-0131 津市あつたつ4-6-4 京都 京都技術センター (075)681-9551 〒601-8102 京都市南区上鳥羽菅田町48 大阪 大阪フィールドサポートセンター (06)6794-9671 〒547-8510 大阪市平野区加美南3-7-19 北大阪出張所 (072)634-4683 〒567-0831 茨木市鮎川5-15-3 堺技術センター (072)221-0451 〒590-0048 堺市堺区一条通16-8 和歌山 和歌山出張所 (073)445-6298 〒641-0031 和歌山市西小二里2-4-91 兵庫 阪神技術センター (06)6421-2304 〒661-0981 尼崎市猪名寺3-2-10 神戸技術センター (078)795-6336 〒654-0161 神戸市須磨区弥栄台3-15-2 姫路出張所 (079)266-8295 〒671-2222 姫路市青山5-7-7	奈良 奈良技術センター (0743)53-2023 〒639-1103 大和郡山市美濃庄町492 島根 松江技術センター (0852)21-6110 〒690-0017 松江市西津田3-1-10 鳥取 鳥取出張所 (0857)28-4222 〒680-0942 鳥取市湖山町東4-27-1 岡山 岡山技術センター (086)292-5830 〒701-0301 都窪郡早島町大字矢尾828 広島 広島技術センター (082)874-6100 〒731-0113 広島市安佐南区西原2-13-4 東広島技術センター (082)428-3065 〒739-0142 東広島市八本松東4-3-30 福山技術センター (084)952-0736 〒720-0841 福山市津之郷町津之郷272-1 山口 山口技術センター (083)972-4525 〒754-0024 山口市小郡若草町4-12 香川 高松技術センター (087)823-4980 〒760-0065 高松市朝日町6-2-8 徳島 徳島出張所 (088)625-8840 〒770-0813 徳島市中常三島町3-11-14 高知 高知技術センター (088)883-7039 〒781-8104 高知市高須1-14-43 愛媛 松山技術センター (089)973-0121 〒791-8036 松山市高岡町178-1 福岡 福岡技術センター (092)572-2617 〒812-0881 福岡市博多区井田2-12-1 南福岡出張所 (0942)45-4551 〒839-0812 久留米市山川安居野3-12-47 北九州技術センター (093)592-6510 〒803-0814 北九州市小倉北区大手町6-12 大分 大分技術センター (097)552-2164 〒870-0913 大分市松原町3-5-3 長崎 長崎技術センター (0957)53-3858 〒856-0817 大村市古賀島町613-3 熊本 熊本技術センター (096)237-5353 〒861-3107 上益城郡嘉島町上仲間227-78 鹿児島 鹿児島技術センター (099)259-0628 〒890-0064 鹿児島市鴨池新町12-1 宮崎 宮崎技術センター (0985)28-8371 〒880-0851 宮崎市港東1-3-2
----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

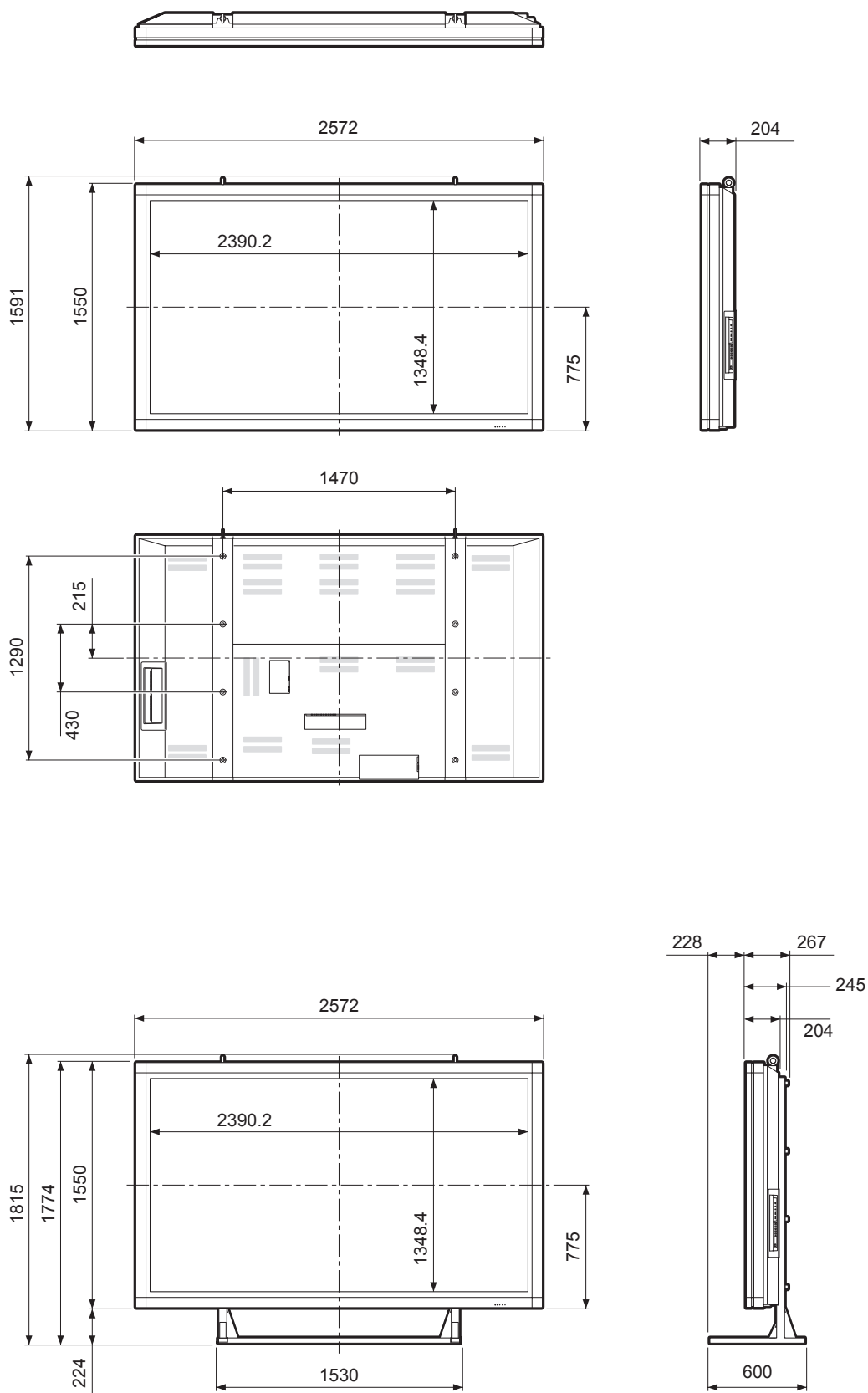
沖縄シャープ電機株式会社 <受付時間>月曜～金曜：9:00～17:30（土曜・日曜、祝日など弊社休日は休ませていただきます。）

沖縄 沖縄シャープ電機（株）(098)861-0866 〒900-0002 那覇市曙2-10-1

※所在地・電話番号・受付時間などは変わることがあります。（2008.11）

寸法图

单位:mm





「よくあるご質問」などは
ホームページをご活用ください。



シャープサポートページ

<http://www.sharp.co.jp/lcd-display/corporate/support/>



使いかたのご相談など

使いかたや接続されているシステムに関するご相談は、ご購入の販売店・営業担当にお問い合わせください。

なお、製品に関するご質問（仕様など）は、下記でもお受けいたします。

シャープ株式会社情報システム事業本部ビジネスソリューション機器事業部

03-3260-8333	〒162-8408 東京都新宿区市谷八幡町8番地
0743-55-6373	〒639-1186 奈良県大和郡山市美濃庄町492番地

受付時間 月曜～金曜：9:00～17:00
（土曜・日曜・祝日など弊社休日は
休ませていただきます。）



修理のご相談など

【修理ご相談窓口】（沖縄地区を除く）

シャープドキュメントシステム株式会社



0570-00-5008（：全国どこからでも一律料金でご利用いただけます。）
（：携帯電話からもご利用いただけます。）

受付時間 月曜～土曜：9:00～17:40（日曜・祝日など弊社休日は休ませていただきます。）

■PHS・IP電話をご利用の方は…

東日本地区	03-3810-8604
西日本地区	06-6794-9676

■沖縄地区の方は…

沖縄シャープ電機株式会社 098-861-0866
（月曜～金曜：9:00～17:30）
（土曜・日曜、祝日など弊社休日は休ませていただきます。）

●電話番号・受付時間などは変わることがあります。（2008.11）

シャープ株式会社

本 社 〒545-8522 大阪市阿倍野区長池町22番22号
情報システム事業本部 〒639-1186 奈良県大和郡山市美濃庄町492番地